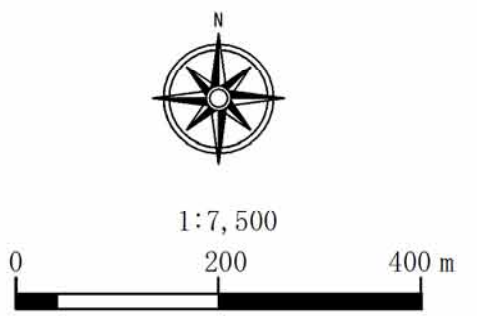


注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

凡 例	
▲	アカハライモリ
■	ニホンアマガエル
●	ニホンアカガエル
●	トウキョウダルマガエル
□	対象事業計画地
■	東工区
○	東工区工事エリアより200mの範囲

図 7.7-9(4) 注目すべき種(両生類, 秋季) 確認位置 (4/4)



オ 昆虫類

① 確認種

確認された昆虫類の分類群別確認種数は表 7.7-29、確認種数一覧は表 7.7-30(1)～(10)に示すとおりである。

事後調査の結果、春季に 104 科 223 種、初夏季に 1 科 3 種、夏季に 111 科 329 種、秋季に 86 科 189 種確認された。また、冬季の哺乳類調査時に 1 科 2 種を確認し、合計 16 目 164 科 590 種の昆虫類が確認された。

では、マガタマハンミョウ、カナブン、カブトムシなどのコウチュウ類やムネアカオオアリ、オオスズメバチなどのハチ類が確認された。

でハラビロトンボ、シオヤトンボ、オオシオカラトンボなどのトンボ類やオオコオイムシ、コシマゲンゴロウなどの水生昆虫が、

ではオナガササキリ、コバネイナゴなどのバッタ類やイネホソミドリカスミカメ、ツマジロカメムシなどのカメムシ類、ベニシジミ、キタテハなどのチョウ類が確認された。

季節別では、春季にはツマキアオジョウカイモドキ、モモブトカミキリモドキが花に集まっていた。初夏季にはゲンジボタルやヘイケボタルがを飛行し、夏季にはでニイニイゼミ、ヒグラシが鳴き、カブトムシ、コガタスズメバチが樹液に集まっていた。秋季でコバネササキリやエンマコオロギの鳴き声が聞こえ、またそれらを捕食するオオカマキリも見られた。

なお、冬季の哺乳類調査時には、でオオムラサキ及びゴマダラチョウの幼虫が越冬していた。

表 7.7-29 分類群別確認種数（昆虫類）

目名	春季		初夏季 ^{※1}		夏季		秋季		冬季 ^{※2}		合計	
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
カゲロウ(蜻蛉)	1	1									1	1
トンボ(蜻蛉)	6	7			6	17	3	6			8	22
カマキリ(蟷螂)							1	2			1	2
シオアリ	1	1									1	1
ハシムシ(革翅)					1	1					1	1
カゲラ(蜉蝣)	1	1									1	1
ハシ(直翅)	3	4			5	7	10	16			11	23
カミシ(半翅)	20	33			18	40	21	36			29	81
ヘビトンボ	1	1									1	1
アミカゲロウ(脈翅)	1	1			1	1	1	1			2	2
シリアゲムシ(長翅)	1	1									1	1
トビケラ(毛翅)	2	2			5	6					6	7
チョウ(鱗翅)	12	32			17	95	11	32	1	2	20	134
ハエ(双翅)	17	27			20	42	12	31			28	76
コウチュウ(鞘翅)	31	91	1	3	24	88	16	44			36	189
ハチ(膜翅)	7	21			14	32	11	21			17	48
16目	104科	223種	1科	3種	111科	329種	86科	189種	1科	2種	164科	590種

※1：初夏季はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※2：冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

【ライトトラップ調査】

L2では36科103種の昆虫類が確認された。L2の環境は[]となっており、広葉樹を餌とするマエキトビエダシヤク、ホソバシヤチホコ、アオスジアオリングなどのガ類やカブトムシ、サクラコガネ、フジナガハムシダマシなどのコウチュウ類など主に樹林環境を生息地とする種が確認された。

L3では29科68種の昆虫類が確認された。L3の環境は[]となっており、湿地性のハガタウスキヨトウ、草本を餌とするシロオビノメイガ、テクロアツバのほか、コガシラミズムシ、コガムシなどの水生昆虫類など主に湿地及び草地環境を生息地とする種が確認された。

【ベイトトラップ調査】

B2では4目13科33種の昆虫類が確認された。B2の環境は[]となっており、主に樹林内の林床を徘徊するコクロナガオサムシ東北地方南部亜種、クロオサムシ東北地方中部亜種等のオサムシ類やムネアカオオアリなどが確認された。

B3では5目13科30種の昆虫類が確認された。B3の環境は、[]となっており、主に湿地環境や周辺の畦などを徘徊するアオゴミムシ、キンナガゴミムシ、アシミゾナガゴミムシなどのゴミムシ類やケラなどが確認された。

表 7.7-30(1) 確認種（昆虫類）(1/10) ※1

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法※2				
					春季	初夏季※3	夏季	秋季	冬季※4	任意	ベイト		ライト	
											B2	B3	L2	L3
1	カゲロウ	モンカゲロウ	フタスズモンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	○					○				
2	トンボ	アオイイトトンボ	オアオイイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>			○	○		○				
3			オツネイトトンボ	<i>Sympecma paedisca</i>	○		○	○		○				
4		イトトンボ	キイトトンボ	<i>Ceragrion melanurum</i>			○			○				
5			アジイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>			○			○				
6		モノサシトンボ	モノサシトンボ	<i>Coperia annulata</i>			○			○				
7		カワトンボ	ハゲトンボ	<i>Atrocalopteryx atrata</i>			○			○				
8			ニホトンボ	<i>Mnais costalis</i>	○					○				
9		ヤンマ	オカヤンマ	<i>Aeshna crenata</i>	○					○				
10			ミルヤンマ	<i>Planaeschna milnei milnei</i>	○			○		○				
11		サエトトンボ	コサエ	<i>Trigomphus melampus</i>	○					○				
12		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○		○			○				
13		トンボ	ショウジイトトンボ	<i>Crocothemis servilia mariannae</i>			○			○				
14			ハレヒトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>			○			○				
15			シオカイトトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>			○			○				
16			シオイトトンボ	<i>Orthetrum japonicum</i>	○					○				
17			オシオカイトトンボ	<i>Orthetrum melania</i>			○			○				
18			コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>			○			○				
19			マクダアガネ	<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>			○	○		○				
20			アキアガネ	<i>Sympetrum frequens</i>			○	○		○				1
21			ノボトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>			○	○		○				
22			マイアガネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>			○			○				
23			ヤマアガネ	<i>Sympetrum pedemontanum elatum</i>			○			○				
24		カマキリ	カマキリ	<i>Statilia maculata</i>				○		○				
25	オカマキリ		<i>Tenodera sinensis</i>				○		○					
26	シロアリ	シロアリ	ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus speratus</i>	○				○					
27	ハサミムシ	クキハサミムシ	クキハサミムシ	<i>Forficula scudderii</i>			○						1	
28	カワゲラ	カワゲラ	Nemoura 属	<i>Nemoura sp.</i>	○				○			2		
29	ハク	コホキ	ハネシコホキ	<i>Nippancistroger testaceus</i>	○			○		○				
30		ツムシ	セシツムシ	<i>Ducetia japonica</i>				○		○				
31		キリギリス	コバネキリギリス	<i>Chizuela bonneti</i>			○			○				
32			オホネキリギリス	<i>Conocephalus exemptus</i>				○		○				
33			コバネキリギリス	<i>Conocephalus japonicus</i>				○		○				
34			ササキ	<i>Conocephalus melaenus</i>				○		○				
35			ヒメキ	<i>Eobiana engelhardti subtropica</i>				○		○				
36			ケラ	ケラ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>	○			○				2	
37		マツムシ	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>				○		○				
38		コホキ	クホキ	<i>Loxoblemmus aomoriensis</i>				○		○				
39			ハコホキ	<i>Loxoblemmus campestris</i>				○		○				
40			エンマコホキ	<i>Teleogryllus emma</i>				○		○				
41		ヒバリモトキ	マダラス	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>				○		○				
42			シハス	<i>Polionemobius mikado</i>				○		○				
43			キアシヒバリモトキ	<i>Trigonidium japonicum</i>				○		○				
44		ハク	ショウリウハク	<i>Acrida cinerea</i>				○		○				
45			トノサマハク	<i>Locusta migratoria</i>				○		○				
46	ナキイコ		<i>Mongolotettix japonicus</i>				○		○					
47	クルマハク		<i>Oedaleus infernalis</i>				○		○					
48	イコ		コバネイコ	<i>Oxya yezoensis</i>				○		○				
49	オシハク	オシハク	<i>Atractomorpha lata</i>				○		○					
50	ヒシハク	トクヒシハク	<i>Criotettix japonicus</i>	○					○					
51		コバネヒシハク	<i>Formosatettix larvatus</i>	○					○	1				
52	カメシ	ヒシウカ	ヨシヒシウカ	<i>Reptalus quadricinctus</i>			○		○					
53		アハハコ	アハハコ	<i>Geisha distinctissima</i>				○		○				
54		ハコ	ベッコウハコ	<i>Orosanga japonicus</i>				○		○				
55		ゼミ	ニニゼミ	<i>Platyleura kaempferi</i>				○		○				
56			ヒクアジ	<i>Tanna japonensis</i>				○		○				
57		ツノゼミ	トビイロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>				○		○				
58		アヲキムシ	シロヒアヲキ	<i>Aphrophora intermedia</i>				○	○	○				
59			ホアヲキ	<i>Aphrophora stictica</i>				○		○				
60			クロスアヲキ	<i>Aphrophora vittata</i>				○		○				
61			マダアヲキ	<i>Awafukia nawae</i>					○	○				
62			Peuceptylus 属	<i>Peuceptylus sp.</i>						○	○			
63			コシアヲキ	コシアヲキ	<i>Eoscarta assimilis</i>				○		○		1	
64			トクアヲキ	ムネアヲキ	<i>Hindoloides bipunctata</i>	○					○			
65		ヨコハ	ツマクヨコハ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	○			○		○				
66	オコハ	オコハ	<i>Cicadella viridis</i>				○	○	○			1		

※1：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2：表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3：初夏季はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4：冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(2) 確認種 (昆虫類) (2/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}					
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト		
											B2	B3	L2	L3	
67	カメシ	ヨコバ ^イ	シロヒメヨコバ ^イ	<i>Eurhadina betularia</i>				○							2
68			クササシ ^イ ヨコバ ^イ	<i>Favintiga camphorae</i>			○								2
69			ヒシモシ ^イ ヨコバ ^イ	<i>Hishimonus sellatus</i>				○							1
70			シバ ^イ ヨコバ ^イ	<i>Japanagallia pteridis</i>				○							
71			マエシ ^イ ヨコバ ^イ	<i>Kolla atramentaria</i>	○						○				
72			コミミズ ^ク	<i>Ledropsis discolor</i>	○						○				
73			ムゲンウスバ ^イ ヨコバ ^イ	<i>Macrosteles nabiae</i>			○								1
74			オビ ^イ ヒメヨコバ ^イ	<i>Naratettix zonatus</i>				○			○				
75			ツマク ^イ ヨコバ ^イ	<i>Nephotettix cincticeps</i>			○								10
76			ズ ^イ キシヨコバ ^イ	<i>Podulmorinus vitticollis</i>				○							1
77		サシカ ^メ	アハハリサシカ ^メ	<i>Rhynocoris rubromarginatus</i>			○				○				
78			シマサシカ ^メ	<i>Spheganolestes impressicollis</i>			○				○				
79			ヤコサシカ ^メ	<i>Velinus nodipes</i>	○			○			○				
80		ゲンバ ^イ ムシ	ヒゲ ^イ フトゲンバ ^イ	<i>Copium japonicum</i>			○				○				
81			アダク ^イ チウゲンバ ^イ	<i>Corythucha marmorata</i>	○		○	○			○				
82		カスミカ ^メ シ	Adelphocoris 属	<i>Adelphocoris sp.</i>				○			○				
83			ツマク ^イ ロアサカ ^メ シ	<i>Apolygus spinolae</i>				○			○				
84			ムカ ^イ カスミカ ^メ シ	<i>Eurystylus coelestialium</i>			○				○				
85			ス ^イ アサカ ^メ カスミカ ^メ シ	<i>Monalocoris filicis</i>	○						○				
86			コマカ ^イ カスミカ ^メ シ	<i>Orthocephalus funestus</i>	○						○				
87			フタト ^イ ムキ ^イ カスミカ ^メ シ	<i>Stenodema calcarata</i>				○			○				
88			アサカ ^イ カスミカ ^メ シ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>			○	○			○				
89			イネカ ^イ ミ ^イ リカスミカ ^メ シ	<i>Trigonotylus caelestialium</i>				○			○				
90		マキバ ^イ サシカ ^メ	コバ ^イ ネマキバ ^イ サシカ ^メ	<i>Nabis apicalis</i>	○		○	○			○				
91		ヒラカ ^メ シ	イ ^イ ヒラカ ^メ シ	<i>Usingerida verrucigera</i>	○						○				
92		ホソハラカ ^メ シ	ホソハラカ ^メ シ	<i>Riptortus pedestris</i>				○			○				
93		ヘリカ ^メ シ	ホソハラ ^イ ヘリカ ^メ シ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>				○			○				
94			キバ ^イ ハラカ ^メ シ	<i>Plinachtus bicoloripes</i>			○				○				
95		ヒメハラカ ^メ シ	アヒ ^イ ヒメハラカ ^メ シ	<i>Rhopalus maculatus</i>	○		○				○				
96			コバ ^イ チヒメハラカ ^メ シ	<i>Stictopleurus minutus</i>			○				○				
97		ナカ ^メ シ	ヒウ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Caridops albomarginatus</i>	○						○				
98			ヒメヒラ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Cymus aurescens</i>	○						○				
99			オノ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Geocoris varius</i>	○						○				
100			ヒメ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Nysius plebeius</i>	○		○	○			○				
101			ヒラ ^イ ヒョウ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Pachybrachius luridus</i>			○				○				
102			ヒゲ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Pachygrontha antennata</i>			○	○			○				
103			クロス ^イ ナカ ^メ シ	<i>Pachygrontha similis</i>			○				○				
104			コバ ^イ シラ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Pirkimerus japonicus</i>	○						○				
105		メ ^イ ナカ ^メ シ	メ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Chauliops fallax</i>	○		○	○			○				
106		ツナカ ^メ シ	エサ ^イ キキ ^イ ツナカ ^メ シ	<i>Sastragala esakii</i>				○			○				
107		ツチカ ^メ シ	ミソ ^イ ツチカ ^メ シ	<i>Adomerus triguttulus</i>	○		○				○				
108			ツチカ ^メ シ	<i>Macrocytus japonensis</i>			○						2		
109			マルツチカ ^メ シ	<i>Microporus nigrita</i>	○						○				
110		カ ^メ シ	ウス ^イ ツチカ ^メ シ	<i>Aelia fieberi</i>				○			○				
111			ブ ^イ チケ ^イ カ ^メ シ	<i>Dolycoris baccarum</i>			○	○			○				
112			ナカ ^メ シ	<i>Eurydema rugosa</i>			○				○				
113			トク ^イ シラ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Eysarcoris aeneus</i>				○			○				
114			オト ^イ ケ ^イ シラ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Eysarcoris lewisi</i>			○				○				
115			クサ ^イ カ ^メ シ	<i>Halyomorpha halys</i>			○				○				
116			ナカ ^イ シカ ^メ シ	<i>Menida musiva</i>	○						○				
117			ツマ ^イ シカ ^メ シ	<i>Menida violacea</i>	○			○			○				
118			アサ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Nezara antennata</i>	○						○				
119			オノ ^イ ツチ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Picromerus bidens</i>			○				○				
120			クサ ^イ ツチ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Picromerus lewisi</i>			○				○				
121			チャ ^イ ナカ ^メ シ	<i>Plautia stali</i>			○	○			○				
122		マル ^イ カ ^メ シ	マル ^イ カ ^メ シ	<i>Megacopta punctatissima</i>	○			○			○				
123		キン ^イ カ ^メ シ	アサ ^イ キン ^イ カ ^メ シ	<i>Poecilocoris lewisi</i>	○			○			○				
124		ア ^イ メン ^イ	ア ^イ メン ^イ	<i>Aquarius elongatus</i>	○						○				
125			ア ^イ メン ^イ	<i>Aquarius paludum paludum</i>			○				○				
126			ヒメ ^イ ア ^イ メン ^イ	<i>Gerris latiabdominis</i>	○		○				○				
127			コセ ^イ ア ^イ メン ^イ	<i>Gerris gracilicornis</i>							○				
128			ヤ ^イ マツ ^イ ア ^イ メン ^イ	<i>Gerris insularis</i>			○	○			○				
129		ミス ^イ シ(昆)	ハラ ^イ ミス ^イ シ	<i>Sigara nigroventralis</i>			○	○			○		2		11
130		メ ^イ ミス ^イ シ	メ ^イ ミス ^イ シ	<i>Ochterus marginatus</i>	○								2		
131		コ ^イ イシ	コ ^イ イシ	<i>Appasus major</i>	○		○	○			○				
132		マ ^イ カ ^メ シ	マ ^イ カ ^メ シ	<i>Notonecta triguttata</i>	○			○			○				

※1: 種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2: 表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3: 初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4: 冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(3) 確認種 (昆虫類) (3/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}				
					春季	初夏季 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	ベイト		ライト		
										B2	B3	L2	L3	
133	ヘビトンボ	セツリ	ネグロセツリ	<i>Sialis japonica</i>	○					○				
134	アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	ヤマトヒメカゲロウ	<i>Hemerobius japonicus</i>	○					○				
			Hemerobius 属	<i>Hemerobius sp.</i>				○		○				
135			ウスバカゲロウ	<i>Baliga micans</i>			○			○				
136	シリアゲムシ	シリアゲムシ	フライリシリアゲ	<i>Panorpa pryeri</i>	○					○				
137	トビケラ	シマトビケラ	Hydropsyche 属	<i>Hydropsyche sp.</i>	○		○					2	11	
138		ヒゲナカトビケラ	ヒゲナカトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>			○					3	2	
139		ナカレトビケラ	Rhyacophila 属	<i>Rhyacophila sp.</i>	○					○				
140		ニギキョウトビケラ	ニギキョウトビケラ	<i>Goera japonica</i>			○					2	7	
141		ヒゲナカトビケラ	アヒゲナカトビケラ	<i>Mystacides azureus</i>			○					1	1	
142			ゴマダレヒゲナカトビケラ	<i>Oecetis nigropunctata</i>			○							8
143		トビケラ	ツマグロトビケラ	<i>Phryganea japonica</i>			○			○				
144	チョウ	キバカ	イキバカ	<i>Brachmia triannulella macroscopa</i>	○									1
145			カバイロキバカ	<i>Carbatina picrocarpa</i>			○					1		
146			オオツキバカ	<i>Gaesa atomogypsa</i>	○							1		
147		スダ	コナカ	<i>Plutella xylostella</i>	○							1	3	
148		ハマキ	ヒメキバカ	<i>Coenobiodes granitalis</i>			○					1		
149			ツヤシノハマキ	<i>Homonopsis illotana</i>			○					1		
150			コホリスノハマキ	<i>Neocalyptis angustilineata</i>			○					1	1	
151			クロハヒメハマキ	<i>Olethreutes doubledayana</i>			○							1
152			スズトビハマキ	<i>Pandemis dumetana</i>			○							6
			ハマキ科	<i>Tortricidae sp.</i>				○						1
153		イラカ	ナシイラカ	<i>Narosoideus flavidorsalis</i>			○							1
154			クノシロイラカ	<i>Parasa hilarula</i>			○							5
155		セリチョウ	イチモンジセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>			○	○		○				
156			オオチャハセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>			○			○				
157			キヤウラセリ	<i>Potanthus flavus flavus</i>			○			○				
158		シジミチョウ	ウラシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>	○		○			○				
159			ツバシジミ	<i>Everes argiades argiades</i>	○		○			○				
160			ウラシジミ	<i>Lampides boeticus</i>				○		○				
161			ベニシジミ	<i>Lycæna phlaeas chinensis</i>	○		○	○		○				
162			ヤマシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>	○		○	○		○				
163		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>			○			○				
164			オウゴンズシヒョウモン	<i>Argyrogonome ruslana</i>				○		○				
165			メダラヒョウモン	<i>Damora sagana liane</i>			○			○				
166			ゴマダラチョウ本土亜種	<i>Hestina persimilis japonica</i>	○				○	○				
167			ウラタテハ本土亜種	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>	○			○		○				
168			クロヒカ本土亜種	<i>Lethe diana diana</i>			○			○				
169			ヒカチョウ	<i>Lethe sicelis</i>			○			○				
170			アサマイトシジ	<i>Limenitis glorifica</i>	○					○				
171			ジノハチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i>			○			○				
172			コミシノ本州以南亜種	<i>Neptis sappho intermedia</i>			○	○		○				
173			オヒカ	<i>Ningonia schrenckii schrenckii</i>			○			○				
174			キタテハ	<i>Polygonia e-aureum e-aureum</i>	○		○	○		○				
175			オオムササキ	<i>Sasakia charonda charonda</i>					○	○				
176			ヒメアガサ	<i>Vanessa cardui</i>				○		○				
177			アガサ	<i>Vanessa indica indica</i>				○		○				
178			ヒメウラシジ	<i>Ypthima argus argus</i>	○		○			○				
179		アゲハチョウ	カラスアゲハ本土亜種	<i>Papilio dehaanii dehaanii</i>			○			○				
180			キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>	○		○	○		○				
181			クワアゲハ本土亜種	<i>Papilio protenor demetrius</i>			○			○				
182			アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>	○		○			○				
183		シロチョウ	ツキチョウ本土亜種	<i>Anthocharis scolymus scolymus</i>	○					○				
184			モクチョウ	<i>Colias erate poliographa</i>	○		○	○		○				
185			キキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>	○			○		○				
186			スズメバチ	<i>Pieris melete</i>			○	○		○				
187			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○		○	○		○				
188		ツバ	シロツバ	<i>Bradina atopalis erectalis</i>			○					1		
189			サツマツバ	<i>Calamotropha okanoi</i>			○						1	
190			シロツバ	<i>Calamotropha paludella purella</i>			○						2	
191			ヨシツバ	<i>Chilo luteellus</i>			○						8	
192			マルモンシロ	<i>Eudonia puellaris</i>			○					1		
193			キモリスノメ	<i>Herpetogramma magnum</i>			○					1		
194			シロツバ	<i>Nacoleia commixta</i>			○						2	
195			アノメ	<i>Ostrinia furnacalis</i>			○					1		
196			マエヅツバ	<i>Palpita nigropunctalis</i>				○		○				

※1: 種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2: 表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3: 初夏季はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4: 冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(4) 確認種（昆虫類）(4/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}							
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト				
											B2	B3	L2	L3			
197	チョウ	メバ	クロヒメバ	<i>Pycnarmon pantherata</i>			○						1				
198			シロヒメバ	<i>Spoladea recurvalis</i>				○		○					2		
199			ナシロクマバ	<i>Acrobasis bellulella</i>				○						1			
200			ウスアカムシバ	<i>Addyme confusalis</i>				○						1			
201			フタシロテンボバ	<i>Assara korbi</i>				○						1			
202			ウスアカヒメバ	<i>Ceroprepes ophthalmicella</i>				○						1			
203			オウスヘニトバ	<i>Endotricha icelusalis</i>				○							1		
204			シロイビバ	<i>Etiella zinckenella</i>				○							1		
205			イタヤバ	<i>Etielloides curvellus</i>	○										3		
206			トビイロシバ	<i>Hypsopygia regina</i>				○						2	1		
207			アカツツリバ	<i>Lamoria glaucalis</i>				○						1			
208			トビノシバ	<i>Patagoniodes nipponellus</i>				○						1			
209			ヒメモシ	<i>Polyocha rusticana</i>				○						1	1		
210			ヒゲフトバ	<i>Spatulipalpia albistrialis</i>				○						1			
211			カキバ	マキキバ	<i>Agnidra scabiosa scabiosa</i>				○						1		
212				ムラサキバ	<i>Epipsestis ornata</i>						○				2		
213				ヒメオウスヘニトバ	<i>Habrosyne aurorina aurorina</i>	○									1		
214			シヤクバ	ナカウスバ	<i>Alcis angulifera</i>					○					2		
215				コリスバ	<i>Chlorissa obliterata</i>					○					1		
216				オウバ	<i>Ecliptopera umbrosaria umbrosaria</i>					○					1		
217				ハコバ	<i>Euphyia cineraria</i>	○						○					
218				ミジカバ	<i>Eupithecia addictata</i>					○						1	
219				チビヒメバ	<i>Hydrelia shioyana</i>	○										1	
220				ヨシバ	<i>Idaea auricruda</i>					○						1	
221				ウスバ	<i>Idaea biselata</i>					○						1	
222				オウスバ	<i>Idaea imbecilla</i>	○										1	
223	マキキバ	<i>Nothomiza formosa</i>						○						1			
224	ウラモアバ	<i>Parepione grata</i>		○				○						2			
225	コバ	<i>Pingasa pseudoterpnaria</i>						○						1			
226	マキキバ	<i>Plesiomorpha flaviceps</i>						○						1			
227	ウスバ	<i>Scopula confusa</i>						○						1			
228	マキキバ	<i>Scopula nigropunctata imbella</i>												1			
229	ヒノトバ	<i>Sibatania mactata</i>							○								
230	スバ	<i>Synegia limitatoides</i>						○						2			
231	ヨバ	<i>Thetidia albocostaria</i>						○						1			
232	コバ	<i>Timandra comptaria</i>						○							1		
233	ヨシバ	<i>Xanthorhoe quadrifasciata ignobilis</i>					○						1				
234	イカリバ	<i>Pterodecta felderi</i>					○										
235	スバ	<i>Neogurelca himachala sangaica</i>						○						2			
236	シヤクバ	ババ	<i>Cethodonta griseescens griseescens</i>	○									2	1			
237		ホバ	<i>Fentonia ocypte ocypte</i>					○					1				
238		スバ	<i>Pheosiopsis cinerea cinerea</i>	○									1				
239		オウバ	<i>Pterostoma gigantinum</i>					○						2			
240	ヒトリバ	コバ	<i>Barsine pulchra</i>					○						1			
241		キタバ	<i>Eilema vetusta aegrota</i>					○						2			
242		クロバ	<i>Pelosia ramosula jezoensis</i>					○						1			
243		ヘニトバ	<i>Rhyarioides nebulosa</i>					○						1			
244		キバ	<i>Spilosoma lubricipidum</i>					○									
245	トバ	ブバ	<i>Ilema eurydice</i>					○					1				
246		バ	<i>Acronicta rumicis</i>					○					4				
247	バ	カバ	<i>Agrotis segetum</i>					○						1			
248		オバ	<i>Agrotis tokionis</i>						○					2			
249		クバ	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>					○						1			
250		ハバ	<i>Archanares resoluta</i>					○							3		
251		クバ	<i>Athetis cinerascens</i>	○										1			
252		マバ	<i>Catocala duplicata</i>					○						2			
253		キバ	<i>Catocala patala</i>						○					1			
254		コバ	<i>Catocala praegnax olbiterata</i>					○							1		
255		シバ	<i>Cosmia campostigma</i>					○						4			
256		クバ	<i>Ctenostola sparganooides</i>						○						1		
257		オバ	<i>Edessena hamada</i>					○						1			
258		モバ	<i>Ercheia niveostrigata</i>					○						1			
259		モバ	<i>Ercheia umbrosa</i>					○						1			
260		アバ	<i>Erygia apicalis</i>	○											1		
261		オバ	<i>Helicoverpa armigera armigera</i>						○						1		
262		ウスバ	<i>Hermينيا arenosa</i>					○							2		

※1：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2：表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3：初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4：冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(5) 確認種（昆虫類）(5/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}						
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト			
											B2	B3	L2	L3		
263	チョウ	幼*	クロスアツバ	<i>Herminia grisealis</i>			○						1			
264			シラナミアツバ	<i>Herminia innocens</i>				○						1	1	
265			クロモヤガ	<i>Hermonassa cecilia</i>					○						2	
266			オシシミアツバ	<i>Hipoepa fractalis</i>			○							1		
267			ヒロホトウシクワ	<i>Hydrillodes morosa</i>	○		○							20		
268			クビクワ	<i>Lygephila maxima</i>			○							1		
269			ウラモシクワ	<i>Micreremites pyraloides</i>			○							1		
270			ニセウモンクワ	<i>Mocis ancilla</i>					○						2	
271			クハアツバ	<i>Paracolax tristalis</i>			○							1		
272			テシクワ	<i>Rivula sericealis</i>	○		○								2	
273			クロスヒメアツバ	<i>Schrankia costaeirigalis</i>					○					3	3	
274			スズキリトウ	<i>Spodoptera depravata</i>			○								1	
275			ウスチヤガ	<i>Xestia dilatata</i>					○			○		1	2	
276			コフヒクワ	<i>Zanclognatha lunalis</i>			○							1		
277			コフカ	アオスズアリンガ	<i>Pseudoips prasinanus</i>	○								2		
278			ハエ	ヒメカガ	ヒメカガ科	<i>Limoniidae sp.</i>			○			○			7	
279				カガ	Ctenophora 属	<i>Ctenophora sp.</i>			○			○				
280		キリウジカガ	<i>Tipula aino</i>			○				○						
		Tipula 属	<i>Tipula sp.</i>	○						○			2			
281		ユスリカ	Chironomus 属	<i>Chironomus sp.</i>	○					○						
		ユスリカ科	Chironomidae 属	<i>Chironomidae sp.</i>	○							15	4			
282		クハエ	メスアカクハエ	<i>Bibio japonica</i>	○					○						
283			ハククハエ	<i>Bibio tenebrosus</i>	○					○			1			
			Bibio 属	<i>Bibio sp.</i>	○					○						
284		キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae 属	○		○			○	4		3			
285		クロバネ	クロバネ科	Sciariidae 属	○		○	○		○	12	1	18			
286		シキアブ	キノシキアブ	<i>Rhagio flavimediis</i>			○			○						
287		ミスアブ	Actina 属	<i>Actina sp.</i>	○					○						
288			ハネシミスアブ	<i>Microchrysa flaviventris</i>			○			○						
289			コウカアブ	<i>Ptecticus tenebrifer</i>			○			○						
290			リミスアブ	<i>Sargus nipponensis</i>				○		○						
291		アブ	ハセカウキアブ	<i>Atylotus hasegawai</i>			○			○						
292		ムシキアブ	ヒメキノアブ	<i>Choerades japonicus</i>			○			○						
293			Eutolmus 属	<i>Eutolmus sp.</i>			○			○						
294			シヤアブ	<i>Promachus yesonicus</i>			○			○						
295		ツリアブ	ビロウトツリアブ	<i>Bombylius major</i>	○					○						
296			スキバツリアブ	<i>Villa limbata</i>			○			○						
297		アシナガバエ	Condylostylus 属	<i>Condylostylus sp.</i>			○			○						
298			Dolichopus 属	<i>Dolichopus sp.</i>			○			○						
299			Sciapus 属	<i>Sciapus sp.</i>	○					○						
			アシナガバエ科	Dolichopodidae 属	○					○						
300		オトリバエ	Empis 属	<i>Empis sp.</i>	○					○						
			オトリバエ科	Empididae 属	○					○						
301		ハチアブ	オヒビヒアブ	<i>Allograpta iavana</i>				○		○						
302			ニホシクワ	<i>Cheilosia japonica</i>	○					○						
303			ニホシクワ	<i>Cheilosia nuda</i>			○			○						
304			ホヒアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>			○	○		○						
305			シマアブ	<i>Eristalis cerealis</i>	○					○						
306			ナミアブ	<i>Eristalis tenax</i>				○		○						
307			マトヒアブ	<i>Eumerus japonicus</i>	○					○	1					
			Eumerus 属	<i>Eumerus sp.</i>				○		○						
308			フサヒアブ	<i>Eupeodes corollae</i>	○					○						
309			スズキアブ	<i>Ferdinanda cuprea</i>			○			○						
310			アシナガアブ	<i>Helophilus cristalloideus</i>	○			○		○						
311			カクモアブ	<i>Mallota abdominalis</i>			○			○						
312			ホソアブ	<i>Melanostoma mellinum</i>	○					○						
			Melanostoma 属	<i>Melanostoma sp.</i>			○			○						
313			ヒメハチアブ	<i>Microdon simplex</i>	○					○						
314			キアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>			○			○						
315			オハアブ	<i>Phytomia zonata</i>			○	○		○						
316			ミミアブ	<i>Sphaerophoria indiana</i>	○		○			○						
317			ホヒアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>			○	○		○						
318			キノシキアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>			○	○		○						
319			ナミハチアブ	<i>Xylota amamiensis</i>			○			○						
320		ショウジョウバエ	Drosophila 属	<i>Drosophila sp.</i>	○					○		3				
321		ベッコウバエ	Dryomyza 属	<i>Dryomyza formosa</i>				○		○						

※1：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2：表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3：初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4：冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(6) 確認種 (昆虫類) (6/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}						
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト			
											B2	B3	L2	L3		
322	ハエ	シラハエ	Psilopa 属	<i>Psilopa sp.</i>				○		○						
323		シマハエ	シモリシマハエ	<i>Homoneura euaresta</i>				○		○						
324			ヒラヤマシマハエ	<i>Homoneura hirayamae</i>				○		○						
				Homoneura 属	<i>Homoneura sp.</i>	○		○	○		○					
325				Minettia 属	<i>Minettia sp.</i>	○					○					
326				Sapromyza 属	<i>Sapromyza sp.</i>				○		○					
327				Steganopsis 属	<i>Steganopsis sp.</i>			○	○		○					
328			Milichiidae	キイロクコバエ	<i>Aldrichiomyza flaviventris</i>			○			○					
329				Rivellia 属	<i>Rivellia sp.</i>			○			○					
330			ヤチハエ	ヒナナカヤチハエ	<i>Sepedon aenescens</i>	○		○			○					
331				ヒナシヒナナカヤチハエ	<i>Sepedon noteoi</i>	○					○					
332				Sepsis 属	<i>Sepsis sp.</i>	○					○					
333			ミハエ	ヒラヤマシマハエ	<i>Campiglossa hirayamae</i>			○			○					
334				ノゲシクガカミハエ	<i>Ensina sonchi</i>				○		○					
335			ハナハエ	タネハエ	<i>Delia platura</i>				○		○					
336			クロハエ	オオクロハエ	<i>Calliphora nigribarbis</i>	○					○					
337				赤緑ロビキハエ	<i>Chrysomya pinguis</i>				○		○					
338				ミヤマキンハエ	<i>Lucilia papuensis</i>			○			○					
339				ルキハエ	<i>Protophormia terraenovae</i>			○					1			
340				ツグロキンハエ	<i>Stomorphina obsoleta</i>			○	○		○					
341				シリブトドリハエ	<i>Strongylopteryx prasina</i>			○	○		○					
342			イモハエ	イネクイモハエ	<i>Atherigona oryzae</i>				○		○					
343				アマダノハハレメハエ	<i>Coenosia variegata</i>			○	○		○					
				Coenosia 属	<i>Coenosia sp.</i>			○	○		○					
344				セマダライハエ	<i>Graphomya maculata</i>			○			○					
345				Helina 属	<i>Helina sp.</i>				○		○					
346				キタミズキライハエ	<i>Limnophora septentrionalis</i>			○	○		○					
347				シホカトリハエ	<i>Lispe leucospila sinica</i>				○		○					
348				ハリゲロハレメハエ	<i>Orchisia costata</i>			○	○		○					
349				Phaonia 属	<i>Phaonia sp.</i>			○			○					
350			ニクハエ	コクハエ	<i>Sarcophaga ugamskii</i>			○			○					
				ニクハエ科	<i>Sarcophagidae sp.</i>			○			○					
351		ヤドリハエ	マルホシシラタハエ	<i>Gymnosoma rotundata</i>			○			○						
352			Linnaemya 属	<i>Linnaemya sp.</i>				○		○						
353			Tachina 属	<i>Tachina sp.</i>				○		○						
			ヤドリハエ科	<i>Tachinidae sp.</i>	○		○	○		○						
354	コウチュウ	ホリケビコシムシ	ミテラコシムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>	○		○					2				
355		オサムシ	イグチカクシムシ	<i>Amara macros</i>	○								2			
356				コマルクシムシ	<i>Amara simplicidens</i>				○					2		
357				ヒメクシムシ	<i>Anisodactylus tricuspidatus tricuspidatus</i>			○						5	1	
358				キモンカクシムシ	<i>Bembidion scopulinum</i>			○								1
359				チビヒメクシムシ	<i>Bradycellus subditus</i>			○								1
360				クオサムシ東北地方中部亜種	<i>Carabus albrechti hagai</i>	○		○	○				6			
361				クオサムシ東北地方南部亜種	<i>Carabus arboreus parexilis</i>				○				2			
362				マイムアリ東北地方南部亜種	<i>Carabus blaptoides babaianus</i>	○			○			○		1		
363				アホシムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>			○					6			
364				アホシムシ	<i>Chlaenius pallipes</i>			○	○					8		
365				カクシムシ	<i>Chlaenius variicornis</i>	○								2		
366				オオハラコシムシ	<i>Diplocheila zealandica</i>			○				○				
367				セツヒラコシムシ	<i>Dolichus halensis</i>			○	○				1	1		
368				スズアホシムシ	<i>Haplochlaenius costiger</i>	○						○				
369				ヒメクシムシ	<i>Harpalus jureceki</i>			○							5	
370				アガシマカクシムシ	<i>Harpalus tinctulus</i>	○						○				
371				コクシムシ	<i>Harpalus tridens</i>			○							4	
372				トクケコシムシ	<i>Lachnocrepis proluxa</i>							○				
373				クビナカクシムシ	<i>Oxycentrus argutoroides</i>			○					1			
374				オヒラコシムシ	<i>Platynus magnus</i>	○								2		
375				カクシムシ	<i>Pterostichus microcephalus</i>	○		○						5		
376				キナカクシムシ	<i>Pterostichus planicollis</i>			○						1		
377				アシミナカクシムシ	<i>Pterostichus sulcitaris</i>	○								3		
378				ヨトモナカクシムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>	○							1			
379				ツヤマコシムシ	<i>Stenolophus iridicolor</i>			○								1
380				マルホシツヤマコシムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>				○				4			
381				クオツヤマコシムシ	<i>Synuchus cycloclerus</i>				○				56			
382				クオツヤマコシムシ	<i>Synuchus melantho</i>				○				10			
383				クビナカクシムシ	<i>Trichotichnus longitarsis</i>				○					1		

※1: 種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2: 表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3: 初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4: 冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(7) 確認種 (昆虫類) (7/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}				
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト	
											B2	B3	L2	L3
384	コウチュウ	ハシヨウ	マカ ¹ タマハシヨウ	<i>Cylindera ovipennis</i>	○					○				
385		ゲ ¹ ンコ ¹ ロウ	マカ ¹ ンコ ¹ ロウ	<i>Agabus japonicus</i>	○					○				
386			マルカ ¹ ダ ¹ ンコ ¹ ロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>			○			○				
387			コシマ ¹ ンコ ¹ ロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>	○		○	○		○			1	
388			チビ ¹ ダ ¹ ンコ ¹ ロウ	<i>Hydroglyphus japonicus</i>	○					○				
389			ヒメ ¹ ダ ¹ ンコ ¹ ロウ	<i>Rhantus suturalis</i>			○	○		○				
390		コガ ¹ シラミズ ¹ ムシ	コガ ¹ シラミズ ¹ ムシ	<i>Peltodytes intermedius</i>			○						7	
391		ガ ¹ ムシ	ヤマト ¹ マフガ ¹ ムシ	<i>Berosus japonicus</i>	○					○				
392			コ ¹ マフガ ¹ ムシ	<i>Berosus punctipennis</i>			○						1	
393			ケシガ ¹ ムシ	<i>Cercyon ustus</i>				○					1	
394			フナホ ¹ ヒラタガ ¹ ムシ	<i>Enochrus umbratus</i>	○		○			○			12	
395			コガ ¹ ムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	○		○			○			2	
396			ガ ¹ ムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>			○			○				
397			ヒメガ ¹ ムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>				○		○				
398		エンマムシ	コエンマムシ	<i>Margarinotus niponicus</i>	○					○	1			
399		シデ ¹ ムシ	オオヒラタシデ ¹ ムシ	<i>Eusilpha japonica</i>			○	○		○		16		
400			マエモンシデ ¹ ムシ	<i>Nicrophorus maculifrons</i>	○								1	
401			ヨコホ ¹ シモンシデ ¹ ムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>			○						1	
402			クボホ ¹ シヒラシデ ¹ ムシ	<i>Oiceoptoma nigropunctatum</i>	○					○				
403		ハネカクシ	コクロヒケ ¹ ア ¹ トハネカクシ	<i>Aleochara parens</i>			○					1		
			Aleochara 属	<i>Aleochara sp.</i>	○						1			
404			ホノスジ ¹ テ ¹ オキノコムシ	<i>Ascaphium tibiale</i>	○						1			
405			マルズ ¹ ハネカクシ	<i>Domene crassicornis</i>	○						1			
406			アシナガ ¹ アリゾ ¹ ガムシ	<i>Labomimus reitteri</i>							1			
407			サビ ¹ ハネカクシ	<i>Ontholestes gracilis</i>				○		○				
408			カラカネトガ ¹ リオオズ ¹ ハネカクシ	<i>Platydracus sharpi</i>			○				1			
409			オオサビ ¹ イロモンキハネカクシ	<i>Protocypus scutiger</i>			○				3			
410			Sepedophilus 属	<i>Sepedophilus sp.</i>	○						3			
411			ホノアヲホシメダ ¹ ガハネカクシ	<i>Stenus alienus</i>	○							1		
			Stenus 属	<i>Stenus sp.</i>	○			○		○				
412			ヤマトマルクビ ¹ ハネカクシ	<i>Tachinus japonicus</i>				○		○				
413		マルハサノミ	チキロチビ ¹ マルハサノミ	<i>Contacyphon consobrinus</i>	○					○				
414		セチコガ ¹ ネ	オセチコガ ¹ ネ	<i>Phelotrupes auratus auratus</i>				○			5			
415			セチコガ ¹ ネ	<i>Phelotrupes laevistriatus</i>	○		○	○		○	3			
416		コガ ¹ ネムシ	サクラコガ ¹ ネ	<i>Anomala daimiana</i>			○					2		
417			ヒメコガ ¹ ネ	<i>Anomala rufocyprea</i>			○			○		2	1	
418			アオハナムグリ	<i>Cetonia roelofsi roelofsi</i>			○			○				
419			セマダ ¹ ラコガ ¹ ネ	<i>Exomala orientalis</i>			○			○			1	
420			コアオハナムグリ	<i>Gametis jucunda</i>			○	○		○				
421			アカビ ¹ ロウト ¹ コガ ¹ ネ	<i>Maladera castanea</i>			○			○			1	
422			ヒビ ¹ ロウト ¹ コガ ¹ ネ	<i>Maladera orientalis</i>	○		○			○			1	
423			コフキコガ ¹ ネ	<i>Melolontha japonica</i>			○					2	1	
424			スジ ¹ コガ ¹ ネ	<i>Mimela testaceipes</i>			○					1		
425			ヒラタハナムグリ	<i>Nipponovalgus angusticollis angusticollis</i>	○							1		
426			コブ ¹ マルエンマコガ ¹ ネ	<i>Onthophagus atripennis</i>			○				1			
427			マメコガ ¹ ネ	<i>Popillia japonica</i>			○			○				
428			カナブン	<i>Pseudotrynorhina japonica</i>			○			○				
429			カブ ¹ トムシ	<i>Trypoxylus dichotomus septentrionalis</i>			○					1		
430		タマムシ	ホノアシナガ ¹ タマムシ	<i>Agrilus ribbei</i>	○					○				
431			ウバ ¹ タマムシ	<i>Chalcophora japonica japonica</i>			○			○				
432			シロオビ ¹ ナカホ ¹ ノタマムシ	<i>Coraeus quadriundulatus</i>			○			○				
433			クズ ¹ ノチビ ¹ タマムシ	<i>Trachys auricollis</i>				○		○				
434			アカカ ¹ チビ ¹ タマムシ	<i>Trachys tsushimae</i>			○			○				
435		コメツキムシ	ホノシモリコメツキ	<i>Actenicerus kiashianus</i>	○					○				
436			サビ ¹ キコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>	○					○				
437			ド ¹ ウカ ¹ ネヒラコメツキ	<i>Corymbitodes gratus</i>						○				
438			キバ ¹ ネホコメツキ	<i>Dolerosomus gracilis</i>						○				
439			カバ ¹ イロコメツキ	<i>Ectinus sericeus sericeus</i>	○					○				
440			ヒメキマダ ¹ ラコメツキ	<i>Gamepentes similis</i>			○					1		
441			クチホ ¹ ノコメツキ	<i>Glyphonyx illepidus</i>			○			○				
442			クロツキハダ ¹ コメツキ	<i>Hemicrepidius secessus secessus</i>			○			○				
443			コガ ¹ ダクシコメツキ	<i>Melanotus erythropygus erythropygus</i>	○					○				
444			クシコメツキ	<i>Melanotus legatus legatus</i>			○						1	
445		ジ ¹ ョウカ ¹ 体 ¹ ン	クロヒメクビ ¹ ホ ¹ ツジ ¹ ョウカイ	<i>Asiopodabrus malthinoides malthinoides</i>	○								2	
			Asiopodabrus 属	<i>Asiopodabrus sp.</i>						○			2	
446			ア ¹ バ ¹ チ ¹ ホ ¹ ツジ ¹ ョウカイ	<i>Hatchiana abei</i>	○					○				

※1: 種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2: 表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3: 初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4: 冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(8) 確認種 (昆虫類) (8/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}						
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト			
											B2	B3	L2	L3		
447	コナユウ	ジヨウカイトキ	ウスチジヨウカイ	<i>Lycocerus insulsus insulsus</i>	○						○					
448			ミヤマクビアカジヨウカイ	<i>Lycocerus nakanei</i>	○							○				
449			ムネジツクロチビジヨウカイ	<i>Malthodes sulcicollis</i>	○							○				
450		ホタル	ゲンジホタル	<i>Luciola cruciata</i>		○						○				
451			ヘイケホタル	<i>Luciola lateralis</i>		○						○				
452			ヒメホタル	<i>Luciola parvula</i>		○						○				
453		ヘニホタル	ヘニホタル	<i>Lycostomus modestus</i>			○					○				
454			カクムネヘニホタル	<i>Lyponia quadricollis</i>	○							○				
455		ジヨウカイトキ	クシジヨウカイトキ	<i>Dasytes vulgaris</i>	○							○				
456			ツマキアオジヨウカイトキ	<i>Malachius prolongatus</i>	○							○				
457		キスイトキ	キスイトキ	<i>Byturus affinis</i>	○							○				
458		テントウムシ	ヒメアホテントウ	<i>Chilocorus kuwanae</i>					○			○				
459			ナナテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	○		○	○				○				
460			ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	○		○	○				○				
461			キイロテントウ	<i>Kiuro koebelei koebelei</i>	○							○				
462	ヒメカメコテントウ		<i>Propylea japonica</i>			○	○				○					
463	コカメコテントウ		<i>Propylea quatuordecimpunctata</i>			○							1			
464	カラムシテントウ		<i>Scymnus kawamurai</i>	○							○					
465	シロホテントウ		<i>Vibidia duodecimguttata</i>	○							○					
466	ケンキスイ		コソウホシケンキスイ	<i>Glischrochilus ipsoides</i>			○							1		
467			ムネカサビケンキスイ	<i>Meligethes flavicollis</i>	○							○				
468	アリモトキ	マルキマダラケンキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i>			○					1					
469		クロチビアリモトキ	<i>Anthicomorphus niponicus niponicus</i>				○				○					
470		アホアアリモトキ	<i>Stricticomus fugiens</i>	○							○	2				
471	クビナガムシ	クビナガムシ	<i>Scotodes niponicus</i>	○							○					
472	ナカクチキムシ	フタホシナカクチキ	<i>Dircaea erotyloides</i>			○							2			
473	カミキリモトキ	アホナカクチキ	<i>Melandrya gloriosa</i>								○					
474		キイロカミキリモトキ	<i>Nacerdes hilleri</i>			○					○					
475		モモアトカミキリモトキ	<i>Oedemera lucidicollis</i>	○							○					
476	アホハムシ	ムナシアホハムシ	<i>Pseudopyrochroa laticollis</i>	○							○					
477	オホナミ	クサキオホナミ	<i>Pelecotomoides tokeji</i>			○					○					
478	ハナナガマシ	コナナガマシ	<i>Anaspis funagata</i>			○					○					
479		クサナガマシ	<i>Anaspis marseuli</i>	○							○					
480	コシムシダマシ	ホントビイロクシムシ	<i>Borboresthes cruralis</i>			○					○					
481		ヒメナガシムシ	<i>Ceropria induta</i>								○					
482		スジコバシムシ	<i>Heterotarsus carinula</i>			○					○		1			
483		オホナガマシ	<i>Lagria rufipennis</i>			○					○					
484		フジナガマシ	<i>Macrolagria rufobrunnea</i>	○							○			1		
485	カミキリムシ	コマダカミキリ	<i>Anoplophora malasiaca</i>			○					○					
486		シナクワカミキリ	<i>Asaperda agapanthina</i>	○							○					
487		コバシカミキリ	<i>Atimura japonica</i>					○			○					
488		トクビゲトカミキリ	<i>Demonax transilis</i>	○							○					
489		ヒナリハカミキリ	<i>Dinoptera minuta</i>								○					
490		クモノシロカミキリ	<i>Graphidessa venata venata</i>				○				○					
491		キハネハムシ	<i>Lemula decipiens</i>	○							○					
492		ヨウシロハカミキリ	<i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i>			○					○					
493		カダシロマカミキリ	<i>Mesosa hirsuta hirsuta</i>			○					○			1		
494		ハムシ	カミナリハムシ	<i>Altica cyanea</i>				○				○				
495	アホナカミナリハムシ		<i>Altica oleracea</i>			○					○					
496	ツブシハムシ		<i>Aphthona perminuta</i>	○				○			○			3		
497	スキバシハムシ		<i>Aspidomorpha transparipennis</i>				○				○					
498	ウリハムシトキ		<i>Atrachya menetriasi</i>			○					○					
499	ウリハムシ		<i>Aulacophora indica</i>	○		○	○				○					
500	クワリハムシ		<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>	○							○					
501	アホハムシ		<i>Basilepta fulvipes</i>				○				○					
502	セミンシハムシ		<i>Cassida crucifera</i>	○							○					
503	ヨモギハムシ		<i>Chrysolina aurichalcea</i>			○	○				○					
504	イモシハムシ		<i>Colasposoma dauricum</i>			○					○					
505	ハナリツハムシ		<i>Cryptocephalus approximatus</i>	○							○					
506	チビリツハムシ		<i>Cryptocephalus confusus</i>	○							○					
507	ヤブツハムシ		<i>Cryptocephalus japonus</i>	○							○					
508	カシツハムシ		<i>Cryptocephalus scitulus</i>			○					○					
509	マダラカシハムシ		<i>Demotina fasciculata</i>	○							○					
			Demotina 属	<i>Demotina sp.</i>				○			○					
510	クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>								○						
511	コガタリハムシ	<i>Gastrophysa atrocyanea</i>	○							○						

※1: 種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2: 表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3: 初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4: 冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(9) 確認種 (昆虫類) (9/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}						
					春季	初夏季 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト			
											B2	B3	L2	L3		
512	コウチュウ	ハムシ	フジハムシ	<i>Gonioctena rubripennis</i>	○					○						
513			ホウキセウカトビハムシ	<i>Lanka magnoliae</i>	○					○						
514			アカヒボソハムシ	<i>Lema diversa</i>			○				○					
515			サシゲトビハムシ	<i>Lipromima minuta</i>					○		○					
516			ナトビハムシ	<i>Liprus punctatostriatus</i>	○						○					
517			ホクハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>			○				○					
518			トウカネツバハムシ	<i>Oomorphoides cupreatus</i>	○				○		○					
519			ツバネネツバハムシ	<i>Pagria flavopustulata</i>			○				○					
520			Pagria 属	<i>Pagria sp.</i>					○		○					
521			ムナキハムシ	<i>Smaragdina semiaurantiaca</i>	○						○					
522			アケヒタマノハムシ	<i>Sphaeroderma akebia</i>			○							1		
522			キイロクマノミハムシ	<i>Sphaeroderma unicolor</i>			○				○					
523			イモシカメノコハムシ	<i>Thlaspidia biramosa</i>	○		○				○					
524			トビサハムシ	<i>Trichochrysea japana</i>	○						○					
525			ヒゲナガゾウムシ	マダフヒゲナガゾウムシ						○	○					
526			ホソクサゾウムシ	ヒゲナガホソクサゾウムシ					○		○					
527				マホソクサゾウムシ							○					
				ホソクサゾウムシ科							○					
528			オシゴミ	ヒメクオシゴミ	<i>Apoderus erythrogaster</i>	○		○			○					
529				マルムネオシゴミ	<i>Chonostropheus chujo</i>	○					○					
530				ハイロオシゴミ	<i>Cyllorhynchites ursulus</i>			○			○	1				
531			ゾウムシ	コフキゾウムシ	<i>Eugnathus distinctus</i>			○			○					
532				Hypera 属	<i>Hypera sp.</i>			○							1	
533				カシワチゴトゾウムシ	<i>Nothomylocerus griseus</i>	○		○			○					
534				ムネズミゾウムシ	<i>Orchestes amurensis</i>	○				○		○				
535				カノミゾゾウムシ	<i>Orchestes galloisi</i>	○						○				
536				カシワミゾゾウムシ	<i>Orchestes japonicus</i>					○		○				
537	オシロアシナガゾウムシ	<i>Ornataleides trifidus</i>				○				○						
538	ヒラスネヒゲホソゾウムシ	<i>Phyllobius intrusus</i>		○						○						
539	ホリアアキゾウムシ	<i>Pimelocerus elongatus</i>						○		○						
540	スガリゾウムシ	<i>Pseudocneorhinus bifasciatus</i>				○				○						
541	タゲノクサゾウムシ	<i>Rhinoncus sibiricus</i>		○						○						
542	オシゴミ	トシシゴミ		<i>Aplotes roelofsi</i>					○	○						
543	ハチ	ミツシハチ		アカスゲチュウレンゾ			○			○						
544		ハハチ		セウコハバチ	<i>Athalia infumata</i>			○	○		○					
545			カゲハハチ	<i>Athalia rosae ruficornis</i>				○		○						
546			オスゲハハチ	<i>Dolerus japonicus</i>	○					○						
547		コマムハチ	コマムハチ科	<i>Braconidae sp.</i>			○	○		○				1		
548		ヒメハチ	ヒメハチ科	<i>Ichneumonidae sp.</i>			○	○		○						
549		シリホソウカハチ	シリホソウカハチ科	<i>Proctotrupidae sp.</i>			○	○		○						
550		ナガコハチ	ナガコハチ科	<i>Eupelmidae sp.</i>					○	○						
551		アリガハチ	Epyris 属	<i>Epyris sp.</i>					○	○						
552		アリ	アシナガアリ	<i>Aphaenogaster famelica</i>	○		○			○	12					
553			クワオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>	○					○						
554			ムネカオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>	○		○	○		○	12					
555			テニシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i>			○			○						
556			クワマアリ	<i>Formica japonica (s. l.)</i>			○	○		○	7	1	1			
557			クワオアリ	<i>Lasius fuji</i>						○						
558			トビイロアリ	<i>Lasius japonicus</i>	○		○	○		○	109	160	4			
559			ヒラシクアリ	<i>Lasius spathepus</i>	○					○						
560			アメイアリ	<i>Nylanderia flavipes</i>			○	○		○	465	44				
561			アズマオズアリ	<i>Pheidole fervida</i>			○	○		○	79	102				
562			アミアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>	○		○	○		○		5				
563			トフアリ	<i>Solenopsis japonica</i>			○			○		3				
564	スズメハチ		ケブカスズメハチ	<i>Ancistrocerus densepilosellus</i>				○		○						
565			オオアサヒトハチ本土亜種	<i>Anterhynchium flavomarginatum micado</i>			○			○						
566		エントツトハチ	<i>Orancistrocerus drewseni</i>			○			○							
567		スズメハチ	<i>Oreumenes decoratus</i>			○			○							
568		ムネホリアシナガハチ	<i>Parapolybia crocea</i>			○			○							
569		キホシシナガハチ	<i>Polistes nipponensis</i>			○			○							
570		キシナガハチ本土亜種	<i>Polistes rothmey i watai</i>			○			○							
571		カガクサヒトハチ	<i>Stenodynerus chinensis kalinowskii</i>			○			○							
572		コガサスズメハチ	<i>Vespa analis</i>			○			○							
573		オオスズメハチ	<i>Vespa mandarinia</i>					○	○							
574		キハスズメハチ	<i>Vespa simillima</i>			○	○		○							
575		クハスズメハチ	<i>Vespula flaviceps</i>					○	○							

※1: 種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2: 表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3: 初夏季はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4: 冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-30(10) 確認種（昆虫類）(10/10)

No.	目名	科名	種名	学名	調査時期					調査方法 ^{※2}				
					春季	初夏 ^{※3}	夏季	秋季	冬季 ^{※4}	任意	ベイト		ライト	
											B2	B3	L2	L3
576	ハチ	コツハチ	Tiphia 属	<i>Tiphia sp.</i>	○		○			○				
577		ツチハチ	ネビツチハチ	<i>Scolia oculata</i>	○		○			○				
578		ギンギハチ	クビギンギハチ	<i>Lestica collaris</i>	○		○			○				
579			ヒメオロキハチ本土亜種	<i>Liris festinans japonicus</i>	○			○		○				
580		アハチ	ココアハチ	<i>Isodontia nigella</i>	○		○			○				
581			ヒメハハチ	Andrena 属	<i>Andrena sp.</i>	○		○			○			
582			ミツハチ	ニホンミツハチ	<i>Apis cerana japonica</i>	○			○		○			
583				コマルハチ本土亜種	<i>Bombus ardens ardens</i>	○		○			○			
584				トマルハチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>	○		○	○		○			
585				コマルハチ	<i>Bombus ignitus</i>	○					○			
586				シロスジヒゲカハチ	<i>Eucera spurcatipes</i>	○					○			
587				Nomada 属	<i>Nomada sp.</i>	○					○			
588			ムカシハチ	Colletes 属	<i>Colletes sp.</i>	○			○		○			
589			コハチ	アカコハチ	<i>Halictus aerarius</i>	○		○			○			
590				シロスジカコハチ	<i>Lasioglossum occidens</i>	○		○			○			
				Lasioglossum 属	<i>Lasioglossum sp.</i>	○					○			
合計	16 目	164 科	590 種	-	223 種	3 種	329 種	189 種	2 種	422 種	33 種	30 種	103 種	68 種

※1：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019 年）に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

※2：表中の数値は捕獲個体数を示す。

※3：初夏はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※4：冬季確認種は哺乳類調査時に確認された。

② 注目すべき種

事後調査で確認された昆虫類のうち、注目すべき種は表 7.7-31に示すとおり、4目6科12種であった（注目すべき種は、前掲の表 7.7-10に示す基準に準ずる）。

注目すべき種の確認状況は表 7.7-32、確認位置は図 7.7-10(1)～(5)に示すとおりである。

表 7.7-31 注目すべき種（昆虫類）※1

No.	目名	科名	種名	確認時期					注目すべき種選定基準										
				春季	初夏季※2	夏季	秋季	冬季※3	①	I					II	III	IV	V	
										②									③
							1	2	3	4	5								
1	トンボ (蜻蛉)	トンボ	マユタテアガネ			○	○	—		・	C	・	C	・	○				
2			アキアガネ			○	○	—		・	C	・	C	・	○				
3			シメトンボ			○	○	—		・	C	・	C	・	○				
4			マイアガネ			○		—		・	C	・	C	・	○				
5	チョウ (鱗翅)	タテハチョウ	シヤノメチョウ			○		—		・	C	C	C	・	○				
6			オオムラサキ				○	I	・	C	B	B	・	○			NT		
7	コウチュウ (鞘翅)	ケソコノロウ	マルガケソコノロウ			○		—										VU	
8			カミシ	コカミシ			○		—										DD
9		カミシ				○		—											NT
10		ホタル	ケソシホタル			○		—	I	・	C	B	C	・	○	NT			
11				ヒメホタル			○		—		・	・	・	・	・		NT		
12	ハチ(膜翅)	ミツハチ	クロマルハハチ	○				—										NT	
合計	4目	6科	12種	1種	2種	8種	3種	1種	2種	10種	10種	10種	10種	10種	7種	2種	5種	0種	0種

※1：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に従ったが、一部、他の文献を参考にした。

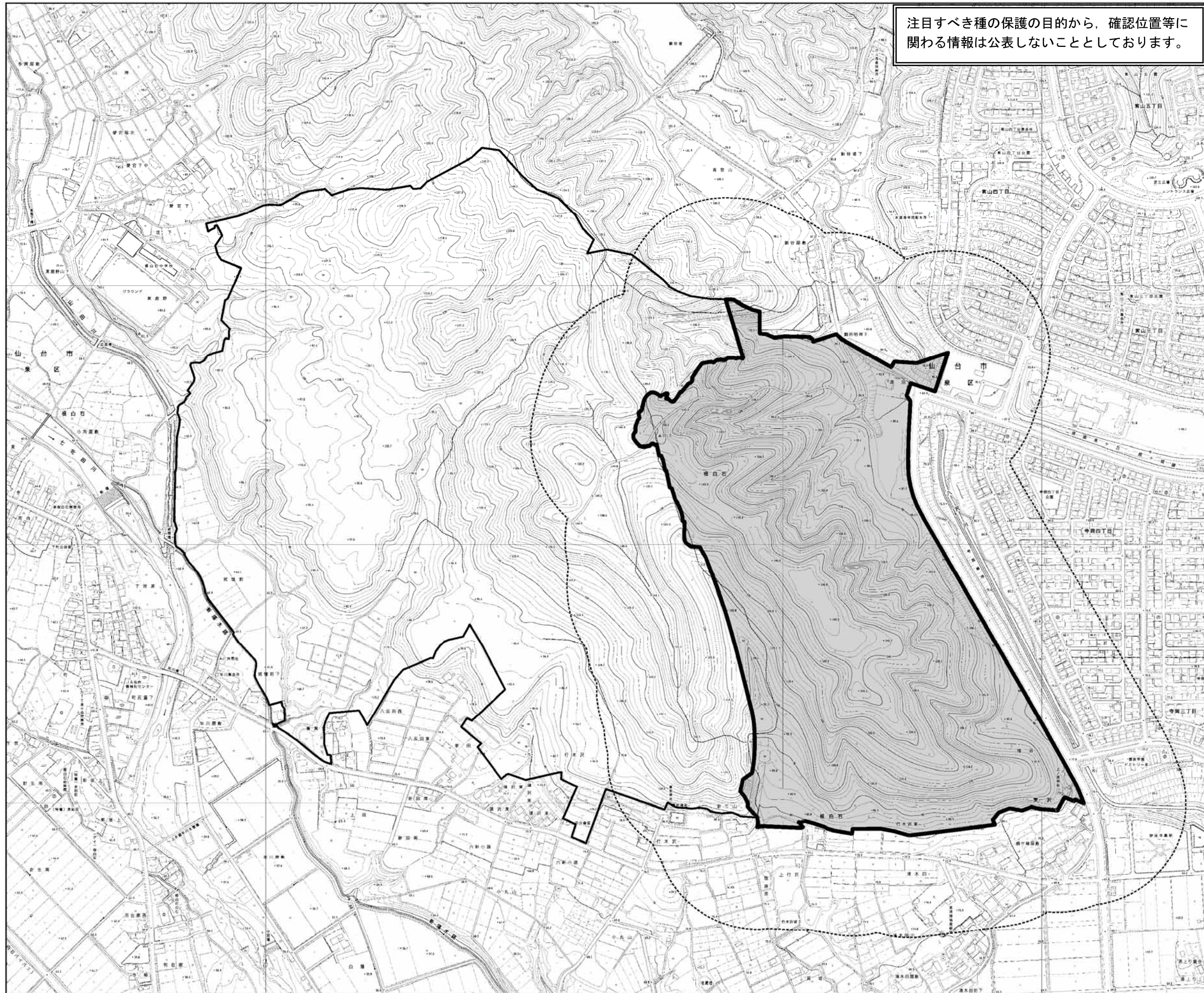
※2：初夏季はホタルを対象とした夜間調査を実施した。

※3：オオムラサキは哺乳類調査時に確認された。

表 7.7-32 注目すべき種の確認状況（昆虫類）

No.	種名	確認个体数（確認地点数）					確認状況
		春季	初夏季	夏季	秋季	冬季*	
1	マユタテアカネ	0	0	1(1)	13(3)	—	夏季～秋季に、 で3地点、 で1地点で計14個体を確認した。
2	アキアカネ	0	0	41(3)	169(9)	—	夏季～秋季に、主に で確認されたが、 でも確認された。12地点で計210個体が確認された。
3	ノシメトンボ	0	0	6(3)	50(5)	—	夏季～秋季に、 の8地点で計56個体が確認された。
4	マイコアカネ	0	0	1(1)	0	—	夏季に 1地点で1個体が確認された。
5	ジャノメチョウ	0	0	4(2)	0	—	夏季に の2地点で計4個体が確認された。
6	オオムラサキ	0	0	0	0	2(1)	冬季に の1地点で計2個体が確認された。
7	マルガタゲンゴロウ	0	0	5(1)	0	—	夏季に の1地点で計5個体が確認された。
8	コガムシ	1(1)	0	12(2)	0	—	夏季に の3地点で計13個体が確認された。
9	ガムシ	0	0	1(1)	0	—	夏季に の1地点で1個体が確認された。
10	ゲンジボタル	0	15(2)	0	0	—	初夏季に、 の2地点で計15個体が確認された。
11	ヒメボタル	0	2(1)	0	0	—	初夏季に、 の1地点で計2個体が確認された。
12	クロマルハナバチ	1(1)	0	0	0	—	春季に の1地点で1個体が確認された。

※：オオムラサキは哺乳類調査時に確認された。



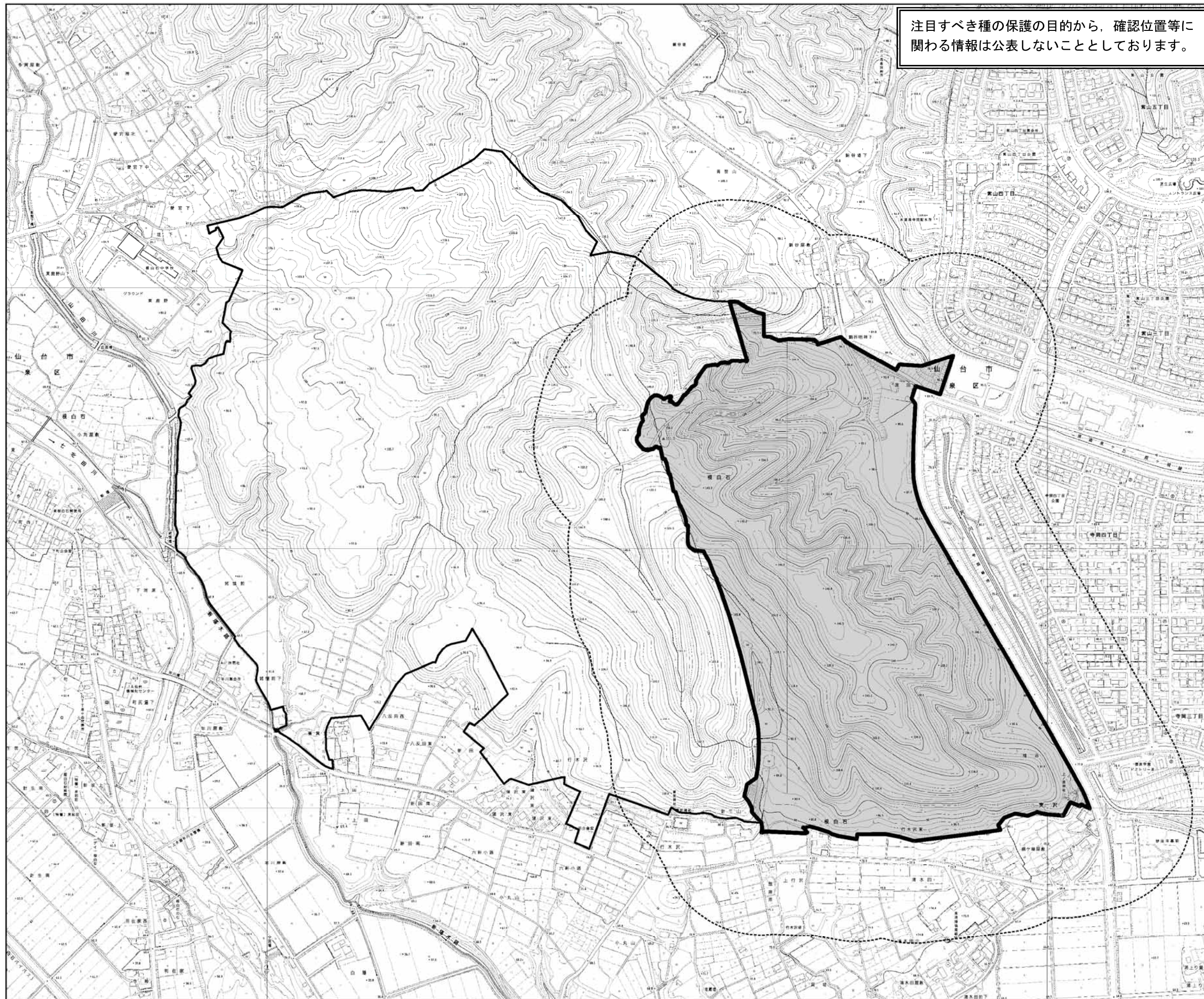
凡 例	
●	重要種位置
▭	対象事業計画地
▭	東工区
○	東工区より200mの範囲

図 7.7-10(1) 注目すべき種(昆虫類, 春季)
確認位置 (1/5)



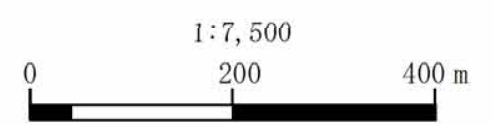
1:7,500





凡 例	
●	重要種位置
▭ (thick border)	対象事業計画地
▭ (shaded gray)	東工区
⋯ (dashed line)	東工区より200mの範囲

図 7.7-10(2) 注目すべき種(昆虫類, 初夏季) 確認位置 (2/5)



注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関する情報は公表しないこととしております。

凡 例	
●	重要種位置
▭	対象事業計画地
▭	東工区
○	東工区より200mの範囲

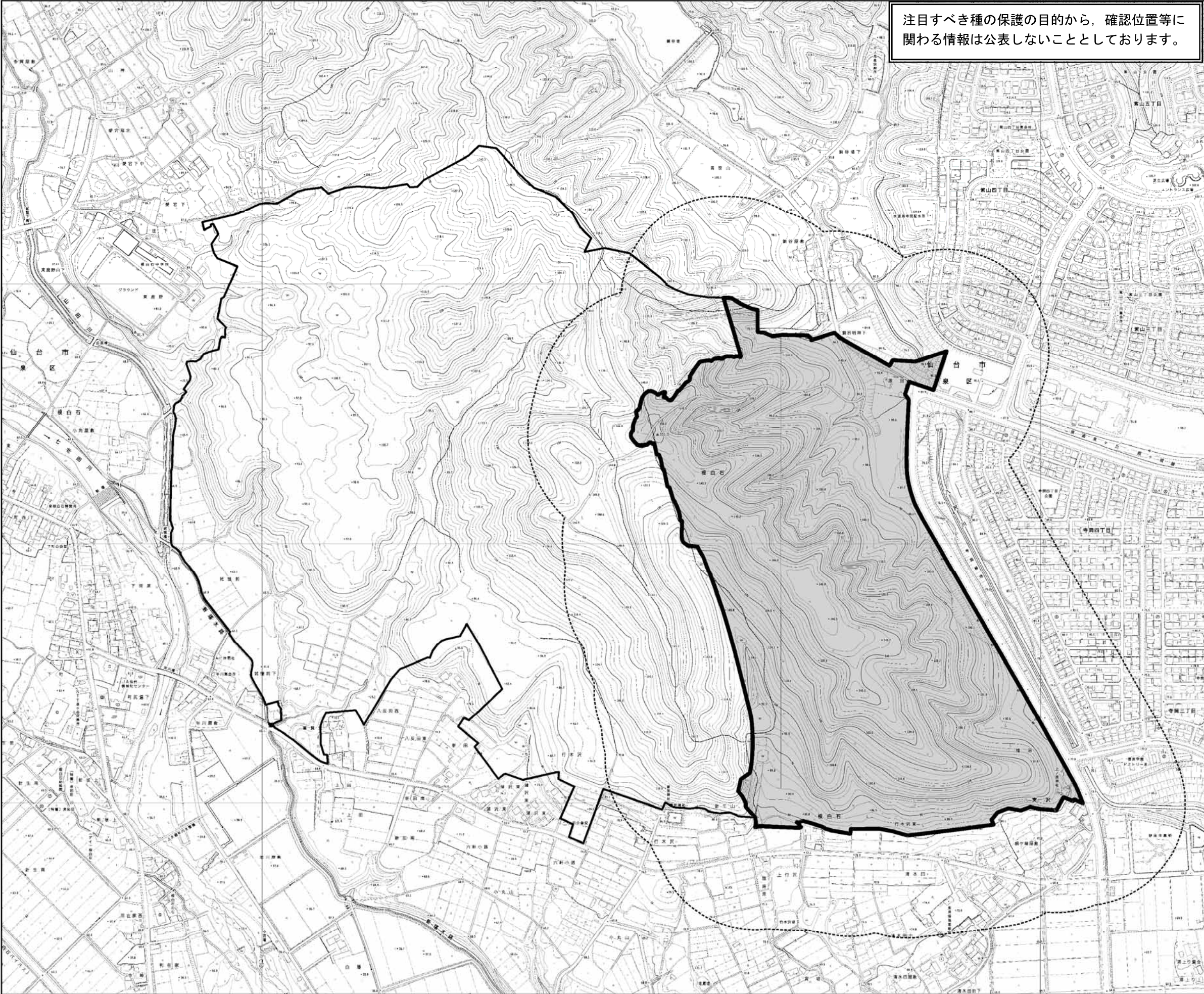
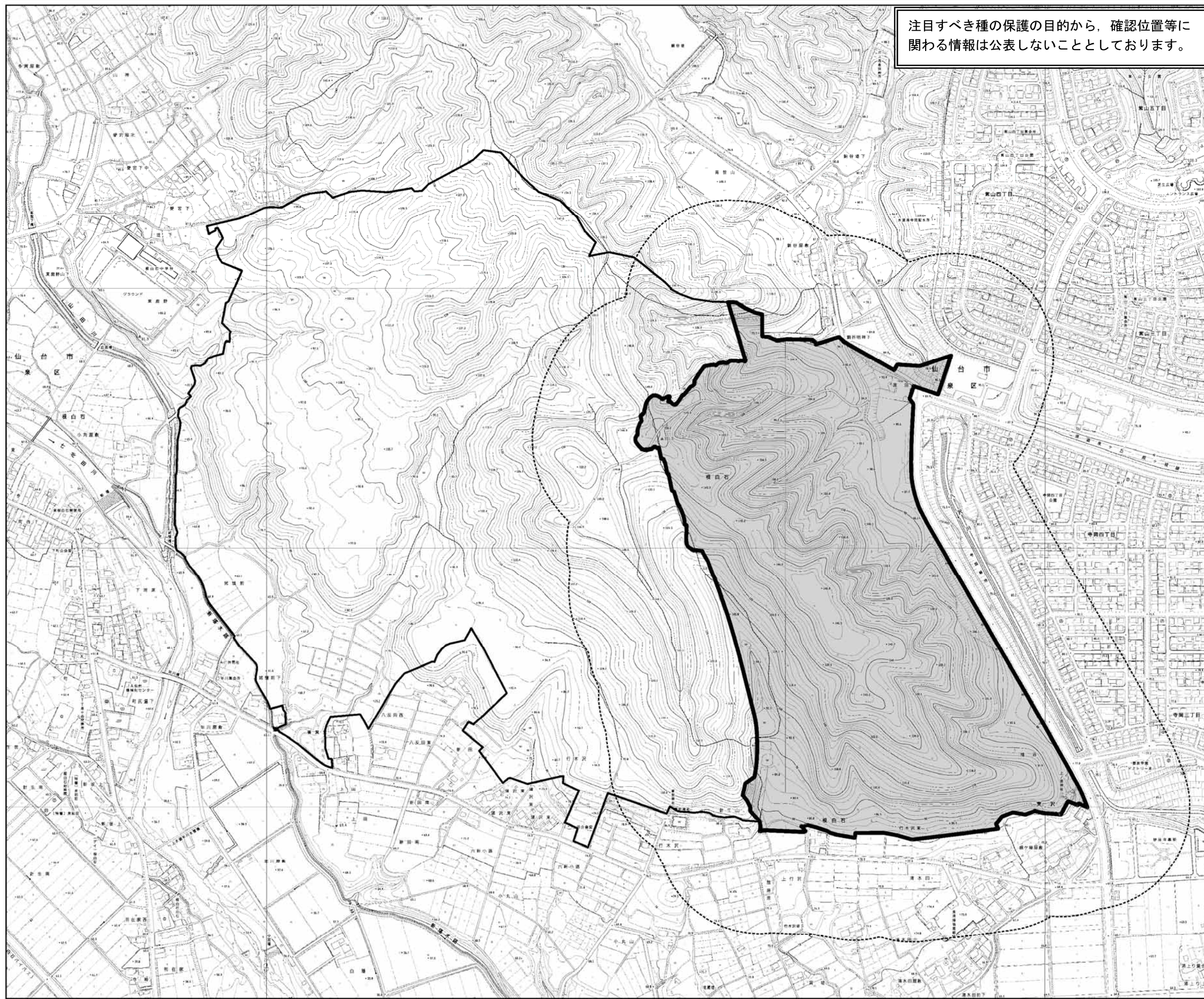


図 7.7-10(3) 注目すべき種(昆虫類, 夏季) 確認位置 (3/5)



1:7,500

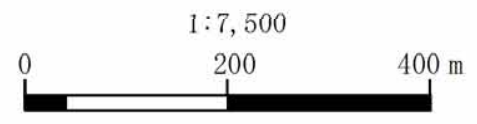


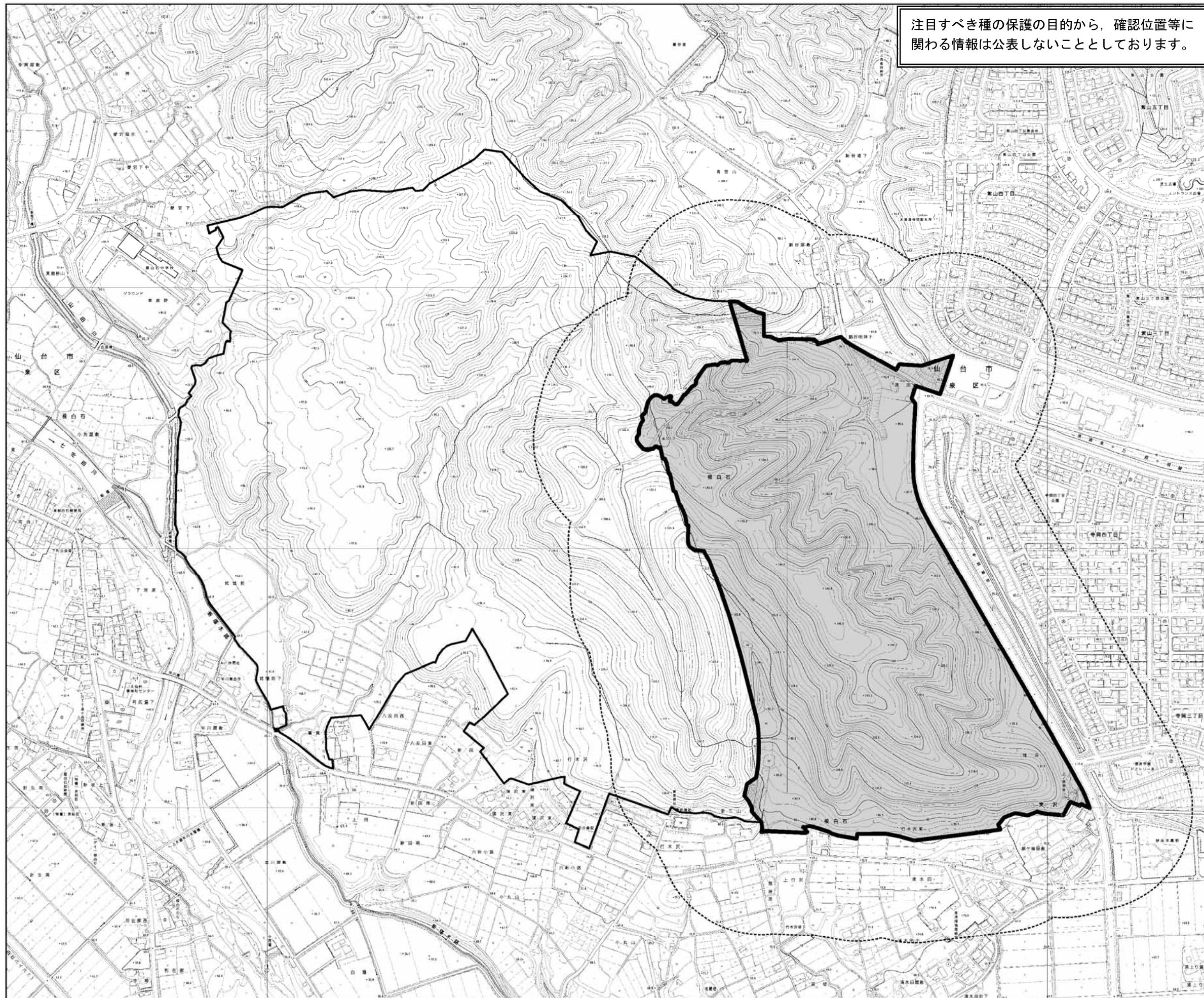


注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関する情報は公表しないこととしております。

凡 例	
●	重要種位置
▭	対象事業計画地
▭	東工区
○	東工区より200mの範囲

図 7.7-10(4) 注目すべき種(昆虫類, 秋季) 確認位置 (4/5)





注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

凡 例	
●	重要種位置
▭	対象事業計画地
▭ (thick border)	東工区
○ (dashed)	東工区より200mの範囲

図 7.7-10(5) 注目すべき種(昆虫類, 冬季) 確認位置 (5/5)



1:7,500



カ 水生動物（魚類）

① 確認種

確認された水生動物（魚類）は、表 7.7-33に示すとおりである。

事後調査の結果、春季に1目2科3種、夏季に1目2科3種、秋季に1目1科2種、合計1目2科3種の魚類が確認された。

No. 15 ではフナ属及びホトケドジョウの2種、No. 16 ではフナ属、シナイモツゴ、ホトケドジョウの3種が確認された。

表 7.7-33 確認種（水生動物（魚類））※

No	目名	科名	種名	学名	No. 15			No. 16		
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
1	コイ	コイ	フナ属	<i>Carassius</i> sp.	○	○	○	○	○	○
2			シナイモツゴ	<i>Pseudorasbora pumila</i>				○	○	○
3			ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>		○		○		
合計	1目	2科	3種	-	1種	2種	1種	3種	2種	2種

※：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に準拠した。

② 注目すべき種

事後調査で確認された魚類のうち、注目すべき種は表 7.7-34に示すとおり、1目2科3種であった（注目すべき種は、前掲の表 7.7-10に示す基準に準ずる）。

注目すべき種の確認状況は表 7.7-35、確認位置は図 7.7-11に示すとおりである。

表 7.7-34 注目すべき種（水生動物（魚類））※1

No.	目名	科名	種名	確認時期			注目すべき種選定基準										
				春季	夏季	秋季	I					II	III	IV	V		
							①	②								③	
						1	2	3	4	5							
1	コイ	コイ	フナ属	○	○	○		+ ^{※2}	+ ^{※2}	C ^{※2}	C ^{※2}	. ^{※2}		NT ^{※3}	VU ^{※2}		
2			シナイモツゴ	○	○	○	1, 4	A	/	/	/	/		CR+EN	CR		
3			ホトケドジョウ	○	○		1	+	+	C	C	/	○	NT	EN		
合計	1目	2科	3種	3種	3種	2種	2種	3種	3種	3種	3種	3種	1種	2種	3種	0種	0種

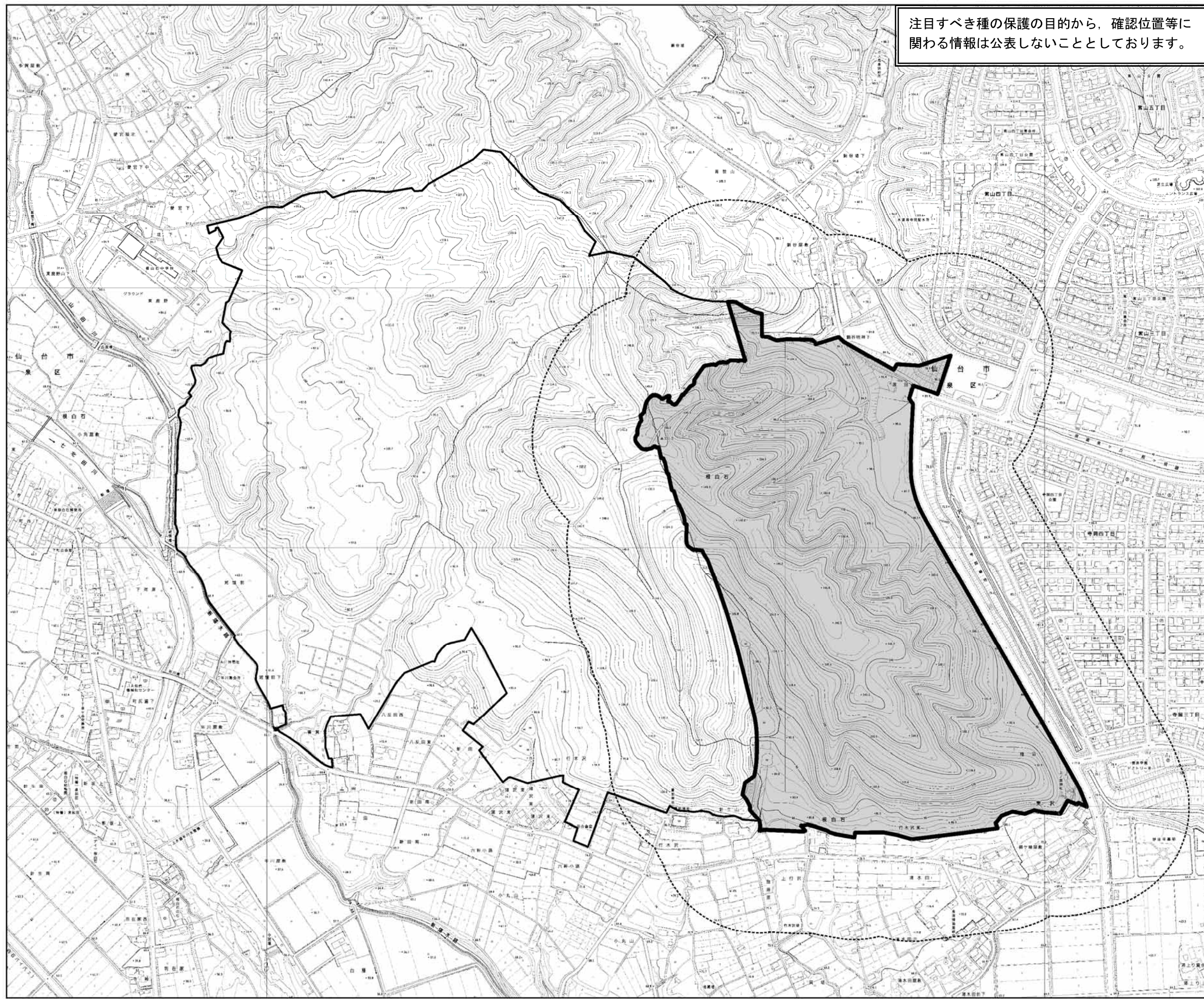
※1：種名や学名及びその記載順は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト」（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に準拠した。

※2：キンブナであった場合を示す。

※3：宮城県レッドデータブックでは、河川のキンブナのみが重要種の対象となるため、 で確認された本調査のフナ属は重要種に該当しない。

表 7.7-35 注目すべき種の確認状況（水生動物（魚類））

No.	種名	確認個体数（確認地点）						確認状況
		春季		夏季		秋季		
		No. 15	No. 16	No. 15	No. 16	No. 15	No. 16	
1	フナ属	1	15	20	15	9	1	各調査時期に、No. 15 で30個体、No. 16 で31個体が確認された。
2	シナイモツゴ	0	42	0	58	0	12	各調査時期に、No. 16 で112個体が確認された。
3	ホトケドジョウ	0	4	6	0	0	0	春季及び夏季に、No. 15 で6個体、No. 16 で4個体が確認された。



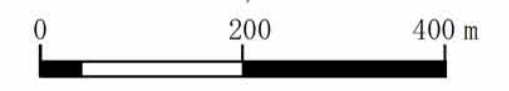
注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

凡 例	
●	重要種位置
○	任意調査
▭	対象事業計画地
▭	東工区
○	東工区より200mの範囲

図 7.7-11 注目すべき種(魚類)確認位置



1:7,500



キ 水生動物（底生動物）

① 確認種

確認された水生動物（底生動物）は、表 7.7-36に示すとおりである。

事後調査の結果、合計 12 目 26 科 38 種の底生動物が確認された。

No. 15 ではヌカエビやタカネトンボ、ヒメアメンボ、コバントビケラなど 27 種が確認された。

No. 16 ではカワニナやヌカエビ、タカネトンボ、コセアカアメンボ、マツモムシなど 28 種が確認された。

なお、No. 15 と No. 16 では、確認種の約半数にあたる 17 種が重複して確認された。

表 7.7-36 確認種（水生動物（底生動物））

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	No. 15			No. 16				
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季		
1	軟体	腹足	新生腹足	カリナ	カリナ	<i>Semisulcospira</i>				○	○	○		
2			汎有肺	カリコサ ^レ ヲカ ^レ イ	カリコサ ^レ ヲカ ^レ イ科	<i>Ancylidae</i> sp.	○			○				
3	環形	ミズ	トミズ	ミズ ^レ ミズ	ミズ ^レ ミズ科	<i>Naididae</i> sp.				○				
4	節足	軟甲	エビ	ヌメエビ	ヌメエビ	<i>Paratya improvisa</i>	○	○	○	○	○	○		
5			昆虫	カゲ ^レ ロウ(蜉蝣)	コカゲ ^レ ロウ	フタバ ^レ カゲ ^レ ロウ属	<i>Cloeon</i> sp.	○		○				
6		フタバ ^レ カゲ ^レ ロウ			フタバ ^レ カゲ ^レ ロウ属	<i>Siphonurus</i> sp.	○			○				
7		トンボ(蜻蛉)		アオイトンボ	アオイトンボ	<i>Lestes sponsa</i>						○		
8				モノサシトンボ	モノサシトンボ	<i>Copera annulata</i>	○				○			
9				ヤンマ	クロス ^レ ギンヤンマ	クロス ^レ ギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus</i>	○		○				
10					ギンヤンマ	ギンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>							○
11					ミルンヤンマ	ミルンヤンマ	<i>Planaeschna milnei</i>	○	○				○	
12					ヤブ ^レ ヤンマ	ヤブ ^レ ヤンマ	<i>Polycanthagyna</i>	○				○		
13				ササエトンボ	コササエ	コササエ	<i>Trigomphus melampus</i>	○	○	○	○	○	○	
14				ホニヤンマ	ホニヤンマ	ホニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>					○		
15				エゾ ^レ トンボ	タカネトンボ	タカネトンボ	<i>Somatochlora uchidai</i>	○	○	○	○	○	○	
16				トンボ	マユタテアカネ	マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum</i>		○					
17		カワゲ ^レ ラ(セキ翅)		オシカワゲ ^レ ラ	オシカワゲ ^レ ラ属	<i>Nemoura</i> sp.	○				○			
18		カムシ(半翅)		アメンボ	アオアメンボ	アオアメンボ	<i>Aquarius elongatus</i>	○					○	
19					アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum</i>						○	
20					エゾ ^レ コセアメンボ	エゾ ^レ コセアメンボ	<i>Gerris yezoensis</i>	○						
21					ヒメアメンボ	ヒメアメンボ	<i>Gerris latiabdominis</i>	○	○			○	○	
22					コセアメンボ	コセアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>					○	○	
23			ヤスマツアメンボ		ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>				○	○			
24	イトアメンボ		オキナワイトアメンボ		オキナワイトアメンボ	<i>Hydrometra okinawana</i>					○			
25	タイコウチ		ミズ ^レ カマキリ		ミズ ^レ カマキリ	<i>Ranatra chinensis</i>				○			○	
26	マツモムシ	マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>		○	○	○	○	○	○			
27	ヘビ ^レ トンボ	セツ ^レ アリ	セツ ^レ アリ科	<i>Sialidae</i> sp.						○				
28	トビ ^レ ケラ(毛翅)	イトビ ^レ ケラ	イトビ ^レ ケラ属	<i>Cyrtus</i> sp.	○									
29		コエカ ^レ リトビ ^レ ケラ	コエカ ^レ リトビ ^レ ケラ属	<i>Apatania</i> sp.					○					
30		アシエカ ^レ トビ ^レ ケラ	コバン ^レ トビ ^レ ケラ	コバン ^レ トビ ^レ ケラ	<i>Anisocentropus</i>	○		○						
31	ハエ(双翅)	ユスリカ	ユスリカ	ユスリカ属	<i>Chironomus</i> sp.	○								
32			カヅ ^レ ヌメユスリカ	カヅ ^レ ヌメユスリカ属	<i>Fittkauimyia</i> sp.	○				○				
33			セボ ^レ リユスリカ	セボ ^レ リユスリカ属	<i>Glyptotendipes</i> sp.		○							
34			キザ ^レ キユスリカ	キザ ^レ キユスリカ属	<i>Sergentia</i> sp.	○				○				
35	コウチュウ(鞘翅)	ゲ ^レ ンゴ ^レ ロウ	マメ ^レ ゲ ^レ ンゴ ^レ ロウ	マメ ^レ ゲ ^レ ンゴ ^レ ロウ	<i>Agabus japonicus</i>	○								
36			ヒメ ^レ ゲ ^レ ンゴ ^レ ロウ	ヒメ ^レ ゲ ^レ ンゴ ^レ ロウ	<i>Rhantus suturalis</i>	○						○		
37			コガ ^レ シラミズ ^レ ムシ	コガ ^レ シラミズ ^レ ムシ	コガ ^レ シラミズ ^レ ムシ	<i>Peltodytes intermedius</i>					○			
38			ガ ^レ ムシ	フタバシラガ ^レ ムシ	フタバシラガ ^レ ムシ	<i>Enochrus umbratus</i>		○						
合計	3門	4綱	12目	26科	38種	-	21種	9種	9種	21種	11種	8種		
							27種			28種				

※：種名は河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト（河川環境データベース 国土交通省 2019年）に従ったものの、一部は他の文献を参考にしている。

② 注目すべき種

事後調査で確認された底生動物のうち、注目すべき種は表 7.7-37に示すとおり、1目1科1種であった（注目すべき種は、前掲の表 7.7-10に示す基準に準ずる）。

注目すべき種の確認状況は表 7.7-38、確認位置は図 7.7-12に示すとおりである。

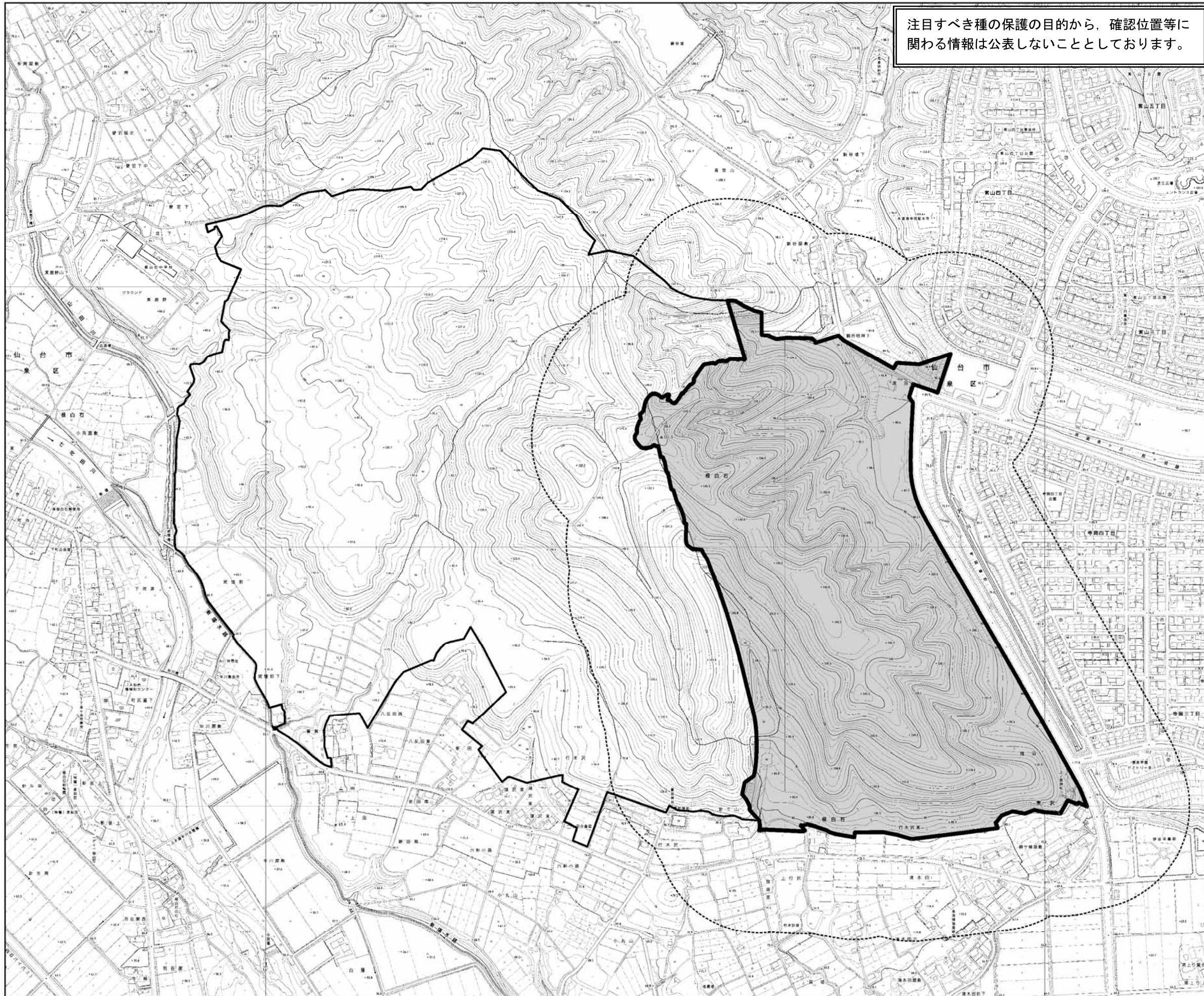
表 7.7-37 注目すべき種（水生動物（底生動物））

No.	目名	科名	種名	春季	夏季	秋季	注目すべき種の選定基準										
							I					II	III	IV	V		
							①	②								③	
								1	2	3	4	5					
1	トンボ（蜻蛉）	トンボ	マユタテアカネ		○			・	c	・	c	・	○				
合計	1目	1科	1種	0種	1種	0種	0種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	0種	0種	0種	0種

※:種名は河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和元年度生物リスト(河川環境データベース 国土交通省 2019年)に従った。

表 7.7-38 注目すべき種の確認状況（水生動物（底生動物））

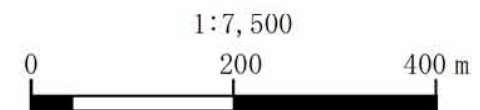
No.	種名	確認個体数（確認地点）						確認状況
		春季		夏季		秋季		
		No. 15	No. 16	No. 15	No. 16	No. 15	No. 16	
1	マユタテアカネ	0	0	2	0	0	0	夏季に, No. 15 で 2 個体を確認した。



注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

凡 例	
●	重要種位置
○	任意調査
□	対象事業計画地
■	東工区
○	東工区より200mの範囲

図 7.7-12 注目すべき種(底生動物) 確認位置



7.7.2. 環境の状況に係る対象事業の状況及び対象事業による負荷の状況

(1) 調査内容

調査内容は、表 7.7-39に示すとおりである。

表 7.7-39 調査内容（動物）

調査項目	調査内容
動物	回避・低減措置
	代償措置

(2) 調査方法

調査方法は、表 7.7-40に示すとおりである。

表 7.7-40 調査方法（動物）

調査項目	調査方法
回避・低減措置	現地確認調査及び記録の確認ならびに必要なに応じてヒアリング調査を実施した。
代償措置	調査方法は以下のとおりとした。 ①移殖：移殖計画に基づき移殖を実施した。移殖の実施状況は写真撮影，野帳等により記録した。 ②移殖後モニタリング：移殖後は目視や採集等により移殖対象種の生息状況を確認した。

(3) 調査地点

調査地点は、表 7.7-41に示すとおりである。

表 7.7-41 調査地点（動物）

調査項目	調査地点
回避・低減措置	対象事業計画地内
代償措置	①，②：移殖対象種の移殖先

(4) 調査時期

調査時期は、表 7.7-42に示すとおりである。

表 7.7-42 調査時期（動物）

調査項目	調査期間
回避・低減措置	令和元年8月1日～令和2年11月30日
代償措置	①：平成29年4月12日～平成29年9月8日 ②：平成30年8月6日～令和2年9月18日

(5) 調査結果

ア 回避・低減措置

回避・低減措置の調査結果は「5. 環境の保全及び創造のための措置の実施状況 5.7 動物 5.7.1. 回避・低減措置」に示すとおりである。

イ 代償措置

代償措置の調査結果は「5. 環境の保全及び創造のための措置の実施状況 5.7 動物 5.7.2. 代償措置」に示すとおりである。

7.8. 生態系

7.8. 生態系

7.8.1. 環境の状況

(1) 調査内容

調査内容は、表 7.8-1に示すとおりである。

表 7.8-1 調査内容（生態系）

調査項目	調査内容
生態系	資材等の運搬、重機の稼働及び切土・盛土・掘削等に係る地域を特徴づける生態系 <ul style="list-style-type: none"> ・環境類型区分 ・地域生態系を特徴づける種 ・周辺生態系との関連等

(2) 調査方法

調査方法は、表 7.8-2に示すとおりである。

表 7.8-2 調査方法（生態系）

調査内容	調査方法
地域を特徴づける生態系 <ul style="list-style-type: none"> ・環境類型区分 ・地域生態系を特徴づける種 ・周辺生態系との関連等 	<p>工事中の「動物」及び「植物」に係る事後調査結果を活用し、以下の内容を整理した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境類型区分は調査地域の地形・地質、水象、植生等に着目した区分を行った。また、工事の実施による造成範囲を示すことにより、環境類型区分の変化を把握した。 ・「動物」及び「植物」の調査結果を活用し、地域を特徴づける種（上位性注目種・典型性注目種）の生育・生息状況の変化を把握した。 ・工事中の「動物」及び「植物」の調査結果、「環境類型区分図」を活用し、東工区より 200m 範囲と周辺の生態系の関連性や連続性の変化を把握した。

(3) 調査地点

調査地点は、表 7.8-3に示すとおりである。

表 7.8-3 調査地点（生態系）

調査内容	調査地点
地域を特徴づける生態系 <ul style="list-style-type: none"> ・環境類型区分 ・地域生態系を特徴づける種 ・周辺生態系との関連等 	「動物」、「植物」の調査地点と同様に東工区より 200m の範囲とした。ただし、注目種・群集の確認状況に応じて、調査地点や範囲は適宜設定した（例えば、行動圏の広いオオタカについては、その生息状況が把握できる範囲とした）。

(4) 調査時期

調査時期は、表 7.8-4に示すとおりである。

表 7.8-4 調査時期（生態系）

調査内容	調査期間
地域を特徴づける生態系 <ul style="list-style-type: none"> ・環境類型区分 ・地域生態系を特徴づける種 ・周辺生態系との関連等 	「動物」、「植物」の調査期間を基本としたが、注目種・群集の生態等を適切に把握できる時期に設定した（繁殖期等が該当し、例えば、オオタカでは 2 月～8 月がそれにあたる）。

(5) 調査結果

ア 環境類型区分

工事中の環境類型区分及び面積は表 7.8-5、環境類型区分の分布状況は図 7.8-1に示すとおりである。

東工区より 200m の範囲内において、環境類型区分は落葉広葉樹林、常緑針葉樹林、竹林、湿性草地、乾性草地、人工地、水域（止水域）の 7 つの環境で構成されていた。占有面積は人工地が最も多く、全環境類型面積 123.47ha のうち、人工地は東工区内で 39.82ha、東工区周辺で 25.81ha であった。

表 7.8-5 工事中の環境類型区分及び面積

環境類型区分	工事中	
	面積 (ha)	占有率 (%)
落葉広葉樹林	18.74	15.18
常緑針葉樹林	13.61	11.02
竹林	2.25	1.82
湿性草地	6.06	4.91
乾性草地	10.94	8.86
人工地	22.53	18.25
人工地（東工区改変区域）	49.17	39.82
水域（止水域）	0.17	0.14
合計	123.47	100.00



図 7.8-1 環境類型区分の分布状況

イ 地域生態系を特徴づける種

① 上位性注目種

a) オオタカ

工事中のオオタカ飛翔位置は図 7.8-2、採餌行動確認位置は図 7.8-3に示すとおりである。

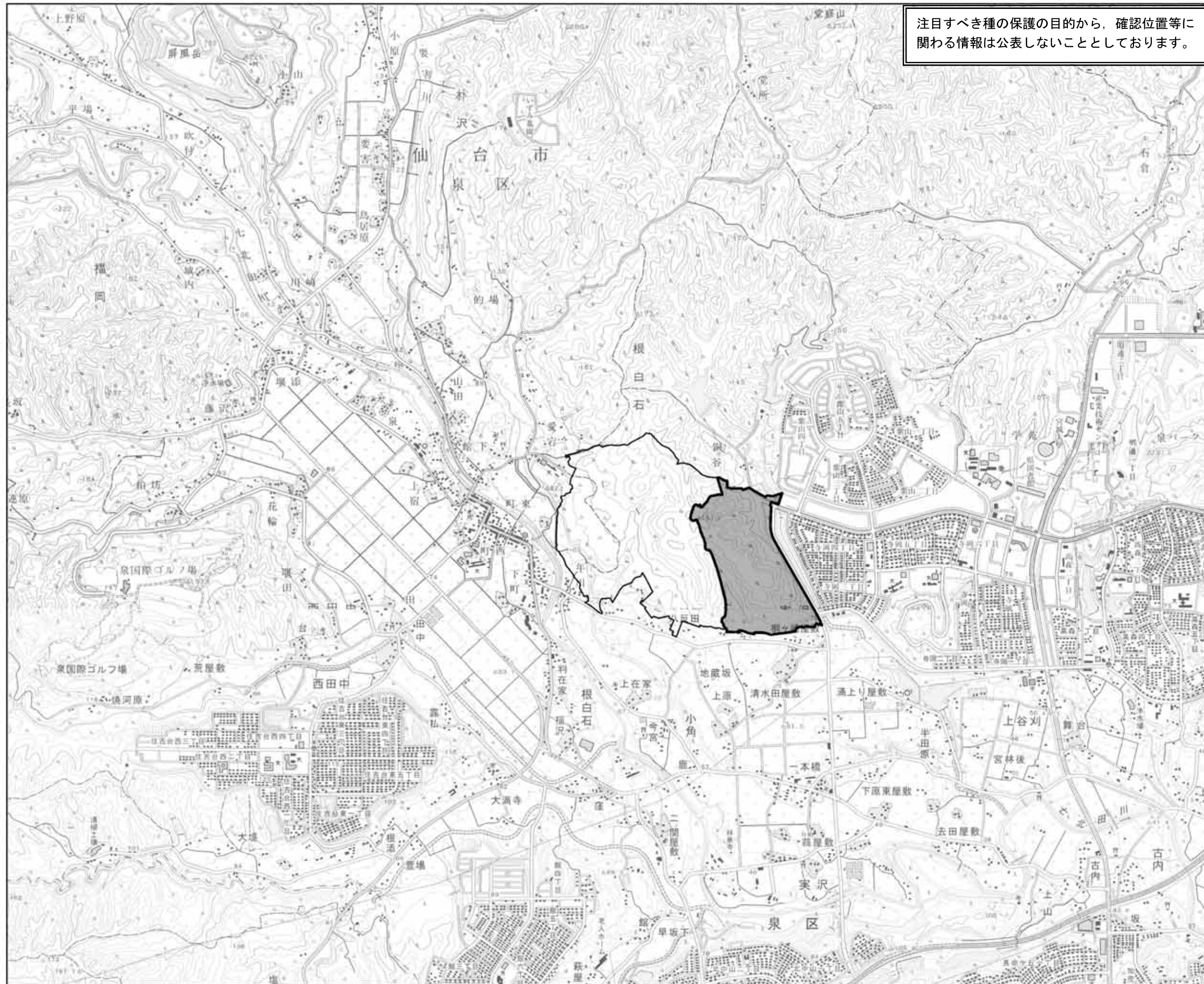
平成 31 年 2 月～令和元年 8 月の事後調査で、オオタカは [REDACTED] で合計 48 回確認された（確認状況の詳細は「7.6. 動物 イ 鳥類」参照）。オオタカは [REDACTED] で確認されたが、 [REDACTED] に飛翔が集中していた。飛翔が集中して確認された地点では、新たな繁殖巣（ [REDACTED] ）を令和元年 6 月に確認した。繁殖巣周辺ではオオタカの羽根や糞、ヒヨドリの食痕が確認されたものの、踏査時点では幼鳥等の営巣している様子は見られず、5 月頃に中断したと考えられた。

採餌行動は 3 例確認されており、1 例は [REDACTED] で採餌飛翔、2 例は [REDACTED] であった。

b) キツネ

工事中のキツネ確認位置は、図 7.8-4に示すとおりである。

キツネは [REDACTED] において、夏季に 2 地点、秋季に 3 地点、冬季に 4 地点、合計 9 地点で確認された。確認環境は、 [REDACTED] などであった。



注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

凡 例	
←	飛翔
←●	飛翔からとまりで確認終了
●	とまり
○○	旋回
○○○	旋回上昇
←←←	急降下
⊗	狩り(直接攻撃)
⊗	探餌飛翔
⊕	停空飛翔
←〰	ディスプレイ ^{*1}
←〰〰	ディスプレイ ^{*2}
▲▲▲	攻撃・モビング
▼▼▼	被攻撃・被モビング
←●●●	餌運搬
←	巣材運搬
★	交尾
⊕	鳴き声のみ
●	固定定点
■	移動定点
○	計画地

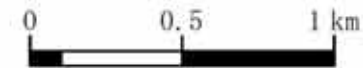
*1: 波状、突っかかり、重なりなど、単発的に行われるディスプレイ。
 *2: 連れ立ち、相互旋回など、連続的に行われるディスプレイ。

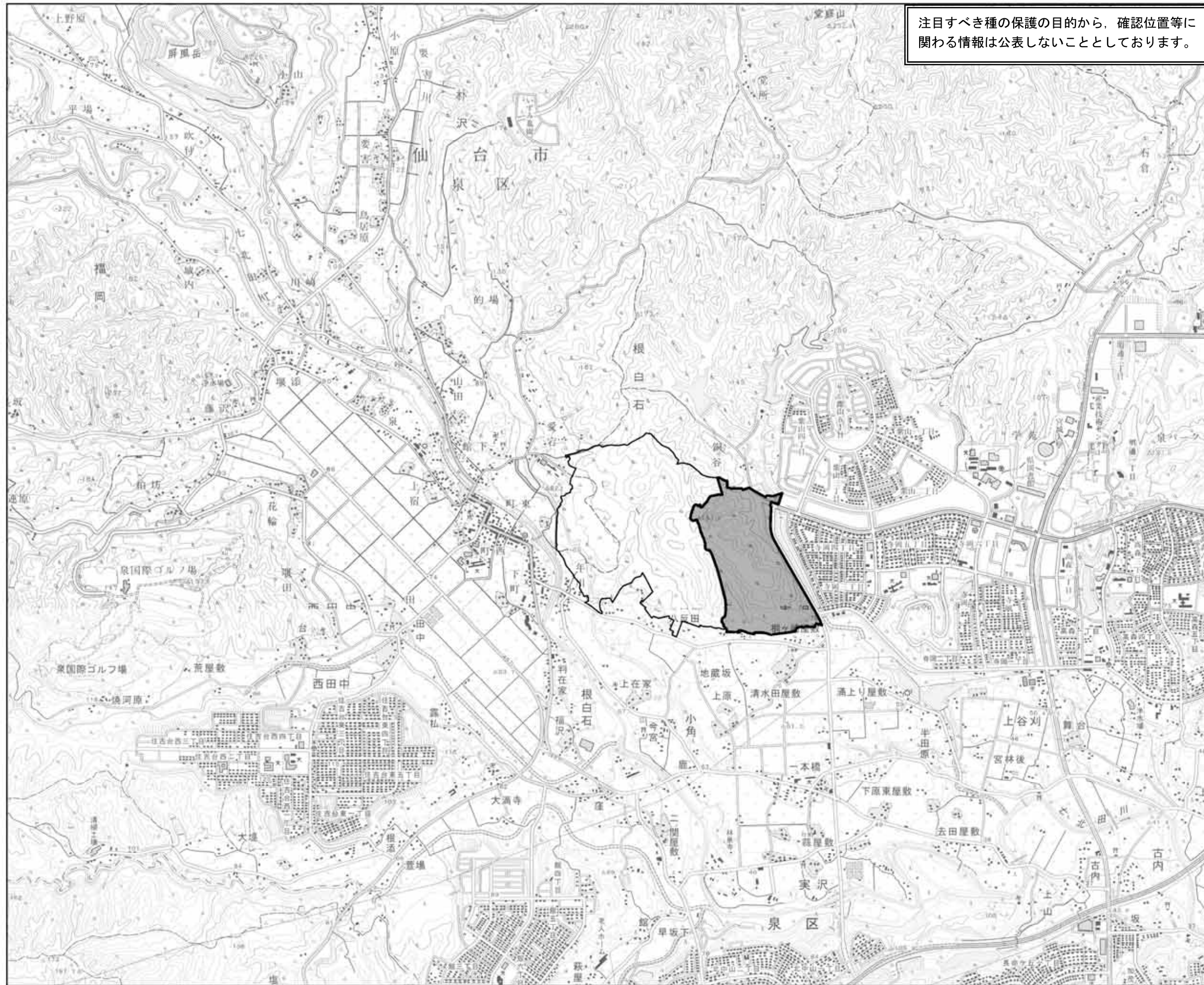
凡 例	
☆	オオタカ繁殖巣
○	オオタカを除く猛禽類
▼	既往の確認巣(調査対象外)
■	繁殖確認(H31)
■	既往の繁殖巣
■	落巣確認

図 7.8-2 オオタカ確認位置
(繁殖期 H31.2~R1.8)



1:25,000





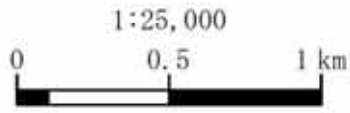
注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関する情報は公表しないこととしております。

凡 例	
←	飛翔
←●	飛翔からとまりで確認終了
●	とまり
○○○	旋回
○○○↑	旋回上昇
←←←	急降下
⊗	狩り(直接攻撃)
⊗	探餌飛翔
⓪	停空飛翔
←〰	ディスプレイ ^{*1}
←〰〰	ディスプレイ ^{*2}
▲▲▲	攻撃・モビング
▼▼▼	被攻撃・被モビング
←●●●	餌運搬
←	巣材運搬
★	交尾
⓪	鳴き声のみ
●	固定定点
■	移動定点
○	計画地

*1: 波状、突っかかり、重なりなど、単発的に行われるディスプレイ。
 *2: 連れ立ち、相互旋回など、連続的に行われるディスプレイ。

凡 例	
☆	オオタカ繁殖巣
○	オオタカを除く猛禽類
▼	既往の確認巣(調査対象外)
■	繁殖確認(H31)
■	既往の繁殖巣
■	落巣確認

図 7.8-3 オオタカ探餌行動 (繁殖期 H31.2~R1.8)



注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関する情報は公表しないこととしております。

- 凡 例
-  : 対象事業計画地
 -  : 東工区
 -  : 変更区域
 -  : 変更区域より200mの範囲
 -  : 落葉広葉樹林
 -  : 常緑針葉樹林
 -  : 竹林
 -  : 湿性草地
 -  : 乾性草地
 -  : 人工地
 -  : 水域（止水域）
 -  : 夏季
 -  : 秋季
 -  : 冬季

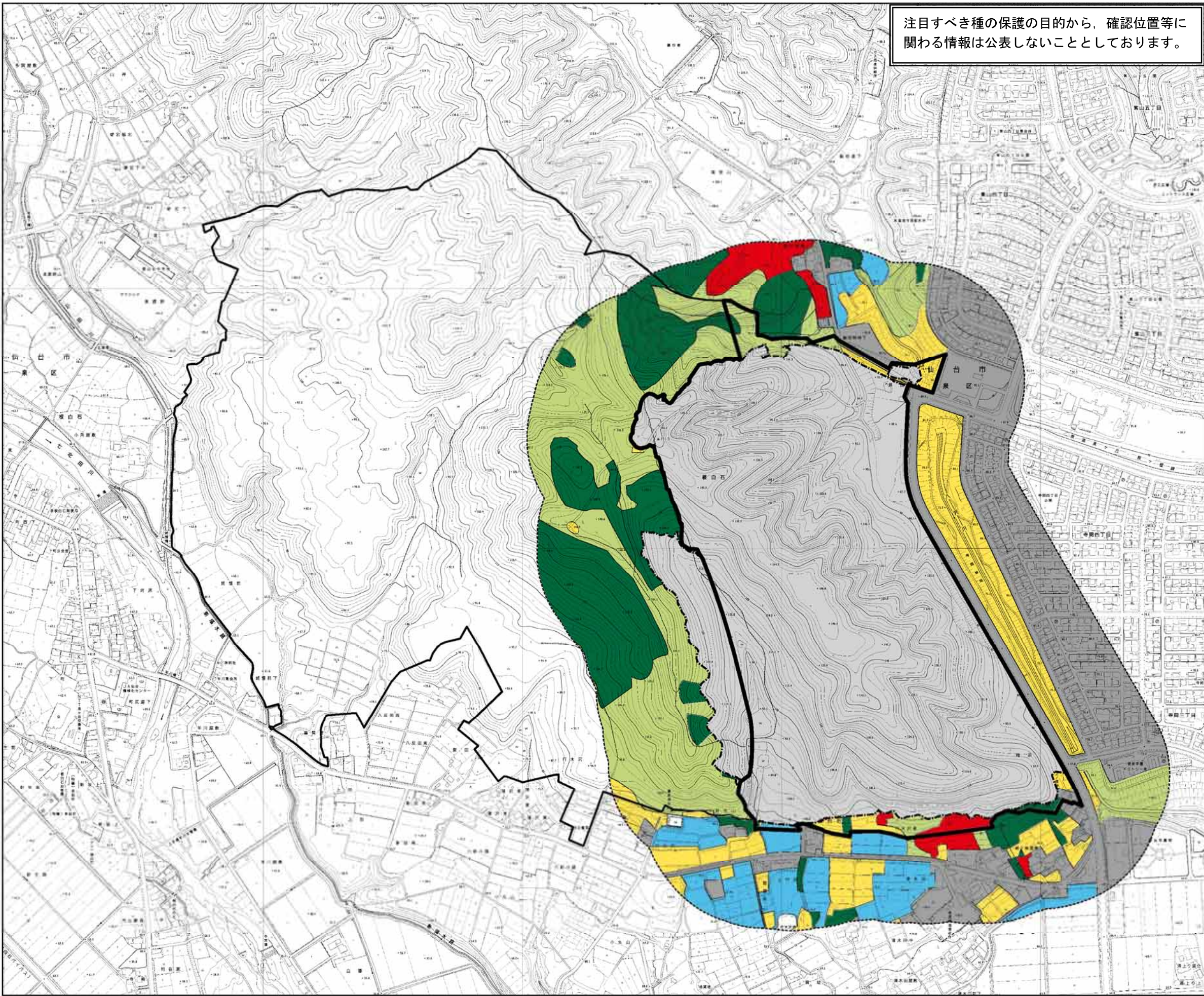
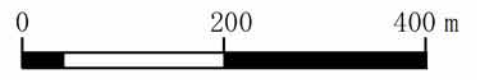


図 7.8-4 キツネ確認位置



1:7,500



② 典型性注目種

評価書では典型性注目種としてニホンリス、アカゲラ、ホオジロ、タゴガエル、ドジョウ、コナラ群落を選定していた。その後、事業計画の変更に伴い、現在は東工区で工事が実施されている。ドジョウは、大部分が[]での確認であったことから、東工区に係る事後調査では、ドジョウを典型性注目種から除外した。

以下にニホンリス、アカゲラ、ホオジロ、タゴガエル、コナラ群落の確認状況を示す。

a) ニホンリス

工事中のニホンリス確認位置は、図 7.8-5に示すとおりである。

ニホンリスは[]において、春季に 4 地点、夏季に 2 地点、秋季に 4 地点、冬季に 4 地点、合計 14 地点で確認された。一部、[]で確認されているが、大部分は[]で確認された。

b) アカゲラ

工事中のアカゲラ確認位置は、図 7.8-6に示すとおりである。

アカゲラは[]において、夏季に 1 地点で 1 個体、秋季に 8 地点で 8 個体、冬季に 3 地点で 3 個体、合計 12 地点で 12 個体が確認された。一部、[]で確認されているが、大部分は[]で確認された。

c) ホオジロ

工事中のホオジロ確認位置は、図 7.8-7に示すとおりである。

ホオジロは[]において、春季に 4 地点、夏季に 4 地点で 4 個体、秋季に 3 地点で 3 個体、冬季に 6 地点で 17 個体、4 個体、合計 17 地点で 28 個体が確認された。一部、[]で確認されているが、大部分は[]などで確認された。

d) タゴガエル

工事中のタゴガエル確認位置は、図 7.8-8に示すとおりである。

タゴガエルは[]において、早春季に 1 地点で 1 個体、春季に 4 地点で 16 個体、夏季に 4 地点で 4 個体、合計 9 地点で 21 個体が確認された。確認地点のいずれも、[]で確認された。

e) コナラ群落（低木林は除く）

工事中のコナラ群落の分布状況は、図 7.8-9に示すとおりである。

コナラ群落は東工区より 200m の範囲において、改変によりコナラ群落は消失し、人工地となった。東工区以遠 200m 範囲の丘陵地においては、東工区西側はコナラ群落が優占するが、北側はスギ植林内にパッチ状に分布していた。東工区の東から南側の平野部においては、住宅地や耕作地の中に点在していた。

注目すべき種の保護の目的から、確認位置等に関わる情報は公表しないこととしております。

- 凡 例
- : 対象事業計画地
 - : 東工区
 - : 変更区域
 - : 変更区域より200mの範囲
 - : 落葉広葉樹林
 - : 常緑針葉樹林
 - : 竹林
 - : 湿性草地
 - : 乾性草地
 - : 人工地
 - : 水域（止水域）
 - : 春季
 - : 夏季
 - : 秋季
 - : 冬季

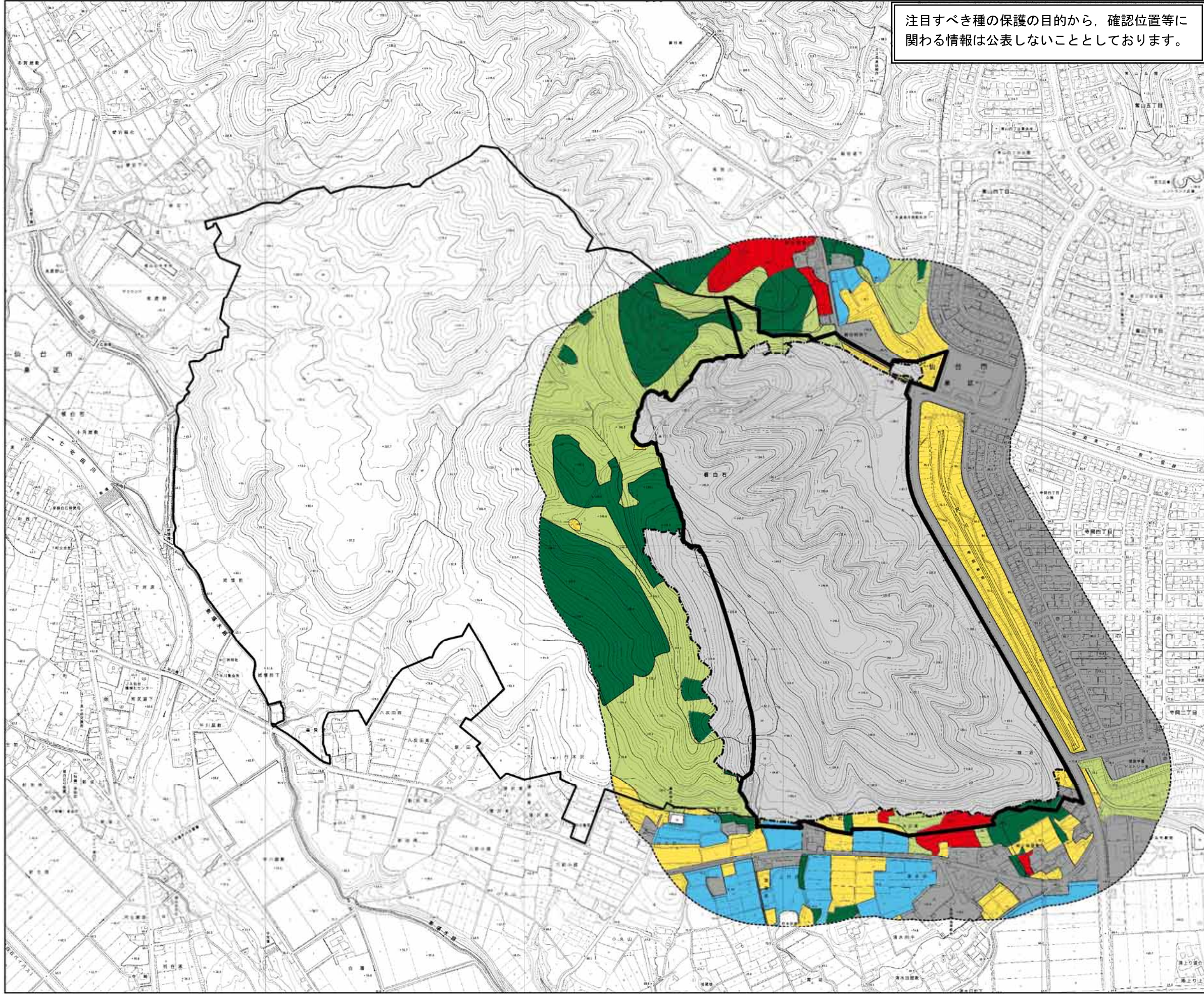


図 7.8-5 ニホンリス確認位置

